
福祉サービス第三者評価（保育分野）
評価結果報告書

横浜市
左近山保育園

添付書類

- 1 評価結果総括表
- 2 評価結果についての講評
- 3 評価結果
- 4 保育観察
- 5 利用者家族アンケート集計表結果
- 6 利用者家族アンケート結果(グラフ表示)
- 7 評価結果まとめ

平成31年 3月 8日

公益社団法人 けいしん神奈川

1 評価結果総括表

○評価組織

事業所	横浜市立左近山保育園
報告書作成日	平成31年 3月 8日
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川

○評価方法

自己評価方法 平成 30 年 9 月 15 日～平成 30 年 11 月 30 日	領域ごとに職員が原案をまとめ、その結果を全員で討議・まとめを行い、園長が全体を集約した。
評価調査員による評価方法 平成 30 年 12 月 17 日、20 日	評価調査員 2 名が視察と書類確認、面談でヒアリング調査（園長、副園長、主任、各保育士、看護師、調理師）を行い評価した。
利用者家族アンケート調査方法 平成 30 年 9 月 21 日～10 月 31 日	全利用者（園児）の保護者に 保育園から手渡し、評価機関が準備したアンケート回収箱（各教室に 6 個）を準備し、保護者から直接投函、評価機関が直接回収する方法をとった。 対象家族97世帯、回収数63 回収率64. 9%
利用者本人調査方法 平成 30 年 12 月 17 日、20 日	・観察調査は園内で実施した ・聞き取り調査は幼児を中心に、食事中、保育中を中心に実施した（0 歳児から5歳児まで）

2 評価結果についての講評

施設の特徴

横浜市左近山保育園は昭和44年6月1日（1969年）に開園し、相鉄線二俣川駅から相鉄バス「左近山第二」徒歩2分のところにあります。

鉄筋コンクリート造り2階建てで、敷地面積 1,382.47 平方メートル（児童一人当たり面積 11.5 平方メートル）、建物面積約 797.89 平方メートルになっています。定員は0歳児から5歳児まで合計 120 名です。

保育理念として、「生きる力を育てるために子どもの思いとその子らしさを大切にします。家族の子育てを支えます」。

園目標は、1. 心身ともにすこやかな子 2. 思いやりの気持ちを持てる子
3. 自分を表現できる子 とあります。

保育姿勢として、
・気持ちを受け止めてもらい、安心して過ごせるようにします。
・健康に過ごすための生活習慣の基礎が身につくようにします。
・一人一人が違うことを認め合えるようにします。
・自分、仲間、自然を大切にする心を育てます。
・思っていること、感じたことを、言葉や行動で表すことができるようにします。 とあります。

園の周りは住宅地にありながらまだ雑木林などの自然も残っている環境下にあります。

特に優れていると思われる点

1 障害児保育・環境整備に力を入れています

子ども本人の尊重を保育方針の基本としてきめ細かい保育を推進しています。特に障害児保育のための保育内容・環境整備に配慮されています。配慮を要する子どもの保育は、計画立案に際しては、カリキュラム会議、ケース会議、職員間のミーティングなどを通して障害の特性を把握しながら立案しています。個別計画立案に際しては保護者からの引き継ぎ情報、保育園での子どもの様子の観察結果、更に過去からの共有情報をベースにしています。また計画の立案と実施に対しては、園に配置している心理士からの情報や西部地域療育センターの巡回相談員からの助言、障害児保育のマニュアル等を参考にしています。

障害児保育のための実施段階では、子どもの状況を把握している保育士が継続的に関わることで、連続性のある保育をしています。保育士は食事介助、生活介助、意識的な声かけなどを行い、毎日のミーティングで結果を報告するとともに職員間で都度ミーティングを行い、対応に生かしています。結果は記録され、期ごとに作成される次期個別指導計画に生かしています。更に西部地域療育センターからは巡回相談を受けたり医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっています。また一人一人の特性を理解した上で、障害児と他の子どもがお互いを認め合えるように援助しています。

保育園の環境整備として1階トイレ、玄関のスロープ、子どもトイレの手すり、階段の手すりなどのバリアフリー等の整備に加えています。

個別配慮が必要な子どもの保護者とは密接に連携し、改善策は園全体で対応するとともに日々の様子は連絡ノートで逐一報告しています。

2 熱意を持った保育士がきめ細かい保育を実施しています

保育士が子どもが主体的に活動できる保育環境の整備、豊かに楽しむことのできる食育、適切な健康管理・衛生管理をしています。保育環境では、年齢や発達に応じた様々な素材のおもちゃを用意し、自由に取り出し遊べるようにしています。遊んだあとは、子どもが自分で片づけられるようにおもちゃをしまう場所に写真を張り付けて分かりやすくしています。おもちゃ棚やコーナーの工夫、片づけやすいことも考慮して片づけることの大切さを教えています。

子どもが動植物に親しみを覚える工夫もしています。外で捕まえてきた虫を飼育ケースに入れて観察飼育できるようにしたり、保育室に図鑑や生き物の絵本を置き、実際に触れたり調べたりして動植物に興味や関心をもつようにしています。

地域との交流もできるようにしています。近隣の公園に散歩に出かけるときは、出会う人との挨拶を教えています。他園や老人施設との交流、地域のお祭りに参加することで園内だけでなく地域との関わりを意識するようにしています。

年長児は乳児の午睡明けのお手伝いをすることもあります。異年齢交流を奨める中で、年長児はより小さな子どもへのお世話をすることで、クラス内では力を発揮しきれない子どもも、自信をもって活動する機会を設けています。また外遊びでも乳児、幼児が連携して活動の場を確保できるよう図っています。

食育では園で協働して野菜などを栽培しており、その収穫物を使って調理したりして食べることによって食への関心を持つようにしています。そら豆枝豆トウモロコシなどの皮むきなど実際に行い、料理の大切さ・大変さを知り、食材や献立に興味や関心を持つようにしています。乳児の授乳は抱っこして目と目を合わせ、声をかけ一人一人の状況に応じ臨機応変に対応しつつその大切さを保護者にも伝えていきます。

健康に対しては健康管理、感染症、衛生管理の各マニュアルがあり、手洗い場の鏡の前に「正しい手洗いの順番」を分かりやすい絵で示すなど、基本的事項は全職員が確認しながら子どもの健康管理をしています。また健康台帳に健診結果を記録しています。保育園の子どもが感染症を発症または、地域などで感染症の流行が見られたときには情報提供をし、掲示や送迎時の手洗いの励行など注意喚起を行い保護者に知らせています。

3 地域のニーズに応じた子育て支援サービスを提供しています

センター園ということで、専任保育士がおり、情報の提供、収集がしやすい点を活かし、地域のニーズに合わせてランチ交流や育児講座などを行っています。地域向けの行事では必ずアンケートをとってニーズや感想を聞き、地域のサロンやひろばで地域と交流をして、相談を受けています。また、相談内容を生かして、育児講座の内容に反映させています。エリア会議、ネットワーク会議に参加することで、それぞれのエリアの反省点や工夫点を参考にする機会としています。

施設の専門性を活かしたサービスの提供取り組みを行っています。「育児相談」、「親子で遊びに

来ませんか」、「いっしょにあそぼう」、「育児講座」、「交流保育」、「ランチ交流」など多くの張り紙があり、地域の人にも分かりやすくしています。園の正面には地域の親子を対象に絵本の貸し出し、育児講座、身体計測、誕生会でのお祝い、誕生カードをプレゼント、手作りおもちゃの紹介など行っています。平日には、お弁当広場を開き、保護者同士の交流の場とし、みんなで楽しく食べる時間を設けています。また、安心、安全な環境のもとで集えるように赤ちゃん親子の集まる日を設けています。また園庭内の一角に地域の親子さんが使えるスペースを設けて、野菜の植え付けや水やり、収穫、調理に親子で関わったりする機会を設けています。このようにしてランチルーム、ホール、園庭を地域の人に開放しています。

旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこ、あかちゃん教室、サロンなどで育児講座の講師を担当したり、子育て支援員の実習・研修を行っています。

4 虐待防止についても力を入れておられます

虐待に対してもその防止対策に力を入れています。虐待が疑われる場合、支援家庭へ意識的な声かけを行い、日々のコミュニケーションを通して相談しやすい関係づくりをしています。またその他の家庭に対しても挨拶などを丁寧に行い、毎日一言でも言葉を交わすようにしています。

虐待が明白になった場合、区の子ども家庭支援課や児童相談所へ連絡することになっており、速やかな対応ができるよう電話のそばに連絡先が置いています。家庭支援の必要な保護者の様子を見守り、必要に応じて相談を受けています。虐待に対する研修は年1回行われる人権研修（11月頃～2月頃まで）の時期を目安に職員会議で子どもの人権について振り返り、周知を行っています。

特に工夫・改善が望まれる点

1 各種マニュアルの整備と更新に工夫の余地があります

保育園には多くのマニュアルが整備されています。マニュアルは業務を進めていくうえで、基準となるもので大切にされています。しかし、研修や新しいルールで情報が増えてくると、同じ項目がダブってきたり、日付が入っていないと新旧の区別が難しくなります。マニュアルの中身を定期的に見直し、整理をすることで職員の知識の整理にもつながるのではないのでしょうか。

2 保育や行事に保護者の要望を入れたり、面談会に力を入れると更によくなります

保護者のアンケート内容は概ね良好です。しいて言えば満足度が低かったのは、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては42.9%」、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については44.4%」でした。特に低いとは言えませんが、保護者も働いておられる方が多く時間的余裕がないため、他の項目に比べて相対的に低く出ているものと推察します。コミュニケーションを良くすることでお互いの理解度を上げていきましょう。

横浜市福祉サービス第三者評価（保育分野）

評価領域Ⅰ 子ども本人の尊重

評価分類・評価項目	評価結果	評価の理由（コメント）
I-1 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の理念は「子どもの思いとその暮らしさを大切にす る。」としており、基本方針もその流れに沿っており、子 ども本人を尊重したものとなっています。 ・職員は毎日のミーティングの時に保育理念、保育目標 を復唱するなどして理解を深めています。 ・全体的な計画は子どもの最善の利益である「子どもがあ りのままの姿でいることを認められ、大切にされること」 を第一義としています。 ・指導計画として、「全体的な計画」で保育理念、保育方針、 園目標、保育姿勢、地域との関わりを明確にし、各年齢 別に発達過程、養護・教育のねらい、食育、地域交流、 リズムを分野ごとに定めています。 ・日々の保育内容は子どもの発達度、理解度に合わせつつ、 子どもの興味や関心を取り入れ指導計画に反映させ ています。 ・子どもの表情やしぐさから気持ちを汲み取り、言葉で の説明に補足して、身振りや絵カード、文字を活用し て子どもの理解を深めています。
I-1-1(1)保育の理念や基本方針が子ども本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の理念は「子どもの思いとその暮らしさを大切にす る。」としており、基本方針もその流れに沿っており、子 ども本人を尊重したものとなっています。 ・職員は毎日のミーティングの時に保育理念、保育目標 を復唱するなどして理解を深めています。 ・保育の理念は保護者や職員が常に目にする玄関や事務 所、保育室などに保育理念や保育目標を掲示していま す。 ・保育方針・保育目標は入園のしおりに掲載し、毎月の クラス目標で具体化し、実践した内容を毎月園だより に載せています。
I-1-1(2)全体的な計画は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画は子どもの最善の利益である「子どもがあ りのままの姿でいることを認められ、大切にされること」 を第一義としています。 ・家庭の状況を把握するため、保護者を対象に年に最低一 回、必要であれば数回面談し、家庭の実態を把握する とともに地域の実態、周囲の環境を考慮して作成してい ます。 ・計画作成については職員全員が新保育指針を読み込み、 クラスで分担して討議する過程を経て、職員全員で作 成しています。 ・全体的な計画の保護者への説明は、入園説明会や年度当 初に行う保護者会等を通して定期的に説明し、改定した 時には都度実施するとともに、重要項目は書面で配布 しています。
I-1-1(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画として、「全体的な計画」で保育理念、保育方針、 園目標、保育姿勢、地域との関わりを明確にし、各年齢 別に発達過程、養護・教育のねらい、食育、地域交流、

<p>力をし、指導計画に反映させているか。</p>		<p>リズムを分野ごとに定めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育内容は子どもの発達度、理解度に合わせつつ、子どもの興味や関心を取り入れ指導計画に反映させています。 ・子どもの表情やしぐさから気持ちを汲み取り、言葉での説明に補足して、身振りや絵カード、文字を活用して子どもの理解を深めています。 ・指導計画には、子どものイベント・行事・グループ活動を通しての意見を取り入れたり、おもちゃ遊びを通して自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっており、計画には柔軟性を持たせています。
---------------------------	--	--

<p>I—2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前には入園説明会を行い、担任または担任予定者が保護者と面接をし、「個人面接票」に家庭の状況や生育歴などを把握しています。 ・カリキュラム会議などで上記資料をベースに面接状況を職員間で把握し、家庭状況についての共通認識を持つようにしています。 ・保護者のニーズと子どもの状況に合わせて短縮保育の日程を調節しています。基本の慣らし保育日程をベースに、子どもの様子と保護者の仕事の都合を相談して日程を短縮したり、延ばしたり調整しています。 ・0歳児においては産休明け児と高月齢児と担当を決め、食事やおむつ替え、午睡などではできる限り継続して関わっています。1歳新入児には、個別に担当保育士が付くようにして園に慣れるように配慮しています。また、勤務交代時、子どもが不安にならないように重複時間を設けています。登園時、子どもの気持ちが落ち着くまでは、できるだけ決まった職員が受け入れ、保護者が安心して預けられるようにしています。 ・子どもの指導計画は年齢別四半期毎に定めた「年間指導計画」と月毎の詳細計画にした「月間指導計画」があり、年間計画は実績をもとに翌年度の計画へ反映させ、月間計画は1か月前に作成し、子どもの発達や状況に応じて作成・評価・見直しをしています。個人配慮が必要な子どもには配慮内容が記されています。0～2歳までの障害児に対しては個別計画で対応しています。 ・年間計画は全職員が参加し作成し、月間指導計画はカリキュラム会議で翌月の計画を作成しています。計画作成には職員以外に保護者の意見も反映しています。 ・子どもの表情や喃語に対しては、意図を読み取り、「うれしいね」「おなかすいたね」など声をかけたり、「○○だね」と物の名前を言葉に置き換えて伝えたりすることを、保育士が意識して行っています。 ・保育士が子どもの行動を愛情豊かに受容し、声かけを行い、心地よい環境をだしています。 ・子どもの月齢差や発達に応じて、玩具の入れ替えをこまめに行っています。手作りの階段、スロープ、トンネルなど、這う、登る、滑るなどの運動を促す環境を整えています。 ・友達遊びの様子に興味や関心が持てるように、「○○しているね」などと声をかけています。
----------------------------------	----------	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の発達にあった援助をしています。一人一人がやろうとする気持ちが芽生えるように援助しています。 ・体の状態、機嫌、食欲などの日常の状態の観察を十分にを行い、子どもに合わせた対応をしています。 ・3歳の保育では、ごっこ遊びのイメージが膨らむようにスカートや人形などを自由に使えるようにし、子ども同士で楽しめるようにしています。 ・4歳の保育では、子どもたちが自由に発想を広げて遊べるよう、おもちゃや素材などを豊富に置いています。 ・5歳の保育では、子ども同士の関わりを大切にし、自分たちで遊びや活動が発展していくよう、見守り援助をしています。 ・いろいろな遊びの中で、自由に身体を動かせるよう園庭の使い方、使う時間、遊具、おもちゃについて他のクラスと相談し共有し、安全に過ごせるようにしたり、クラス別に遊ぶ時間を確保するなど、園庭の環境を工夫しています。
<p>I-2-(1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前には入園説明会を行い、担任または担任予定者が保護者と面接をし、「個人面接票」に家庭の状況や生育歴などを把握しています。 ・入園説明会に、子どもにも来てもらい遊んでいる様子などを観察しています。 ・カリキュラム会議などで上記資料をベースに面接状況を職員間で把握し、家庭状況についての共通認識を持つようにしています。 ・入園時に作成された「児童票」、「健康台帳」及び「面接表」はファイルして保管し、日々の保育に生かせるようにしています。
<p>I-2-(2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズと子どもの状況に合わせ短縮保育の日程を調節しています。基本の慣らし保育日程をベースに、子どもの様子と保護者の仕事の都合を相談して日程を短縮したり、延ばしたり調整しています。 ・0歳児においては産休明け児と高月齢児と担当を決め、食事やおむつ替え、午睡などはできる限り継続して関わっています。1歳新入児には、個別に担当保育士が付くようにして園に慣れるように配慮しています。また、勤務交代時、子どもが不安にならないように重複時間を設けています。登園時、子どもの気持ちが落ち着くまでは、できるだけ決まった職員が受け入れ、保護者が安心して預けられるようにしています。 ・必要に応じて、家庭で使っているタオルなど安心できるものがあれば、持参してもらい子ども一人一人に合わせた対応しています。 ・個人ノートやクラスノートで園の様子を伝えるとともに、送迎時には職員が保護者に安心してもらえるように個別対応しています。 ・新入児が入ったことで、在園児が不安定にならないように職員間で連携を取り、気持ちを受け止めています。

<p>I-2-(3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの指導計画は年齢別四半期毎に定めた「年間指導計画」と月毎の詳細計画にした「月間指導計画」があり、年間計画は実績をもとに翌年度の計画へ反映させ、月間計画は1か月前に作成し、子どもの発達や状況に応じて作成・評価・見直しをしています。個人配慮が必要な子どもには配慮内容が記されています。0～2歳までの障害児に対しては個別計画で対応しています。 ・年間計画は全職員が参加し作成し、月間指導計画はカリキュラム会議で翌月の計画を作成しています。計画作成には職員以外に保護者の意見も反映しています。 ・保育参加、行事、年度末などに保護者アンケートを取り意見や要望を聞くとともに、保育所の自己評価アンケートにて、保護者が自由に意見を書けるようにしています。
<p>I-2-(4)乳児保育(0歳児)において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの表情や喃語に対しては、意図を読み取り、「うれしいね」「おなかすいたね」など声をかけたり、「〇〇だね」と物の名前を言葉に置き換えて伝えたりすることを、保育士が意識して行っています。 ・保育士が子どもの行動を愛情豊かに受容し、声かけを行い、心地よい環境をだしています。 ・子どもの月齢差や発達に応じて、玩具の入れ替えをこまめに行っています。手作りの階段、スロープ、トンネルなど、這う、登る、滑るなどの運動を促す環境を整えています。 ・気候の良い時はベビーカーで散歩に出かけたりテラスや園庭に出たりして外気浴や探索活動ができるようにしています。玩具や絵本を子どもが自由に手に取れるように設置しています。また、衛生面に配慮し、玩具や室内の消毒を毎日行っています。わらべうた遊びや、スキンシップ遊びを通じて、人へのぬくもりを感じられる関わりを持ち、安心して過ごせるようにしています。 ・保護者と連絡を取り合い、哺乳瓶や乳首は家庭で使っているものと同じものを準備し、冷凍母乳の希望があれば対応しています。

<p>I-2-(5)1歳以上3歳未満の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の遊びの様子に興味や関心が持てるように、「〇〇しているね」などと声をかけています。 ・一人一人の発達にあった援助をしています。一人一人がやろうとする気持ちが芽生えるように援助しています。 ・体の状態、機嫌、食欲などの日常の状態の観察を十分に行い、子どもに合わせた対応をしています。 ・押入れの下にスズランテープの入り口を作るなど、遊びやすい環境を工夫しています。壁面に指先遊びができる玩具を設けたり、子どもの発達に応じて玩具を段階的に出したり、入れ替えを行っています。玩具や絵本が取りやすい位置に設置され、子どもが自由に使えるようにしています。園庭の使い方、使う時間など他クラスとも調整しあい自由に遊べるようにしています。 ・保育者と1対1で遊んだり、生活を共にしたりして、安全基地がいつでもあることが分ってくる頃、所有意識も強くなってくるので、おもちゃなどを多めに用意し、周囲の子どものしていることに関心をもち、そばへ行って同じことを楽しめるようにしています。
<p>I-2-(6)3歳以上児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳の保育では、ごっこ遊びのイメージが膨らむようにスカートや人形などを自由に使えるようにし、子ども同士で楽しめるようにしています。 ・4歳の保育では、子どもたちが自由に発想を広げて遊べるよう、おもちゃや素材などを豊富に置いています。 ・5歳の保育では、子ども同士の関わりを大切にし、自分たちで遊びや活動が発展していくよう、見守り援助しています。 ・いろいろな遊びの中で、自由に身体を動かせるよう園庭の使い方、使う時間、遊具、おもちゃについて他のクラスと相談し共有し、安全に過ごせるようにしたり、クラス別に遊ぶ時間を確保するなど、園庭の環境を工夫しています。 ・保育所保育指針に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置き、遊びの様子を写真に撮り、『みんなのえがお』としてクラスに掲示したり、単なる年齢分けだけでなくその集団の特性や状況に合わせて小グループにするなど工夫援助しています。

<p>I-3 快適な施設環境の確保</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の屋内・外とも、常に清潔に保つため、毎日の部屋掃除、カバー類の洗濯や交換など、環境整備、衛生管理において、最善の努力をしています。また、感染症が流行る時期には、遊具や家具の洗浄や消毒の回数を増やしています。 ・通風・換気を確保するため、一日を通し、空気の入れ換えを行っています。 ・温湿度管理はエアコン、扇風機、空気清浄加湿器を適切に使用し、室温計で確認しながら快適な温度、湿度を保つようにしています。 ・保育所の屋内・外とも、常に清潔に保つため、毎日の部屋掃除、カバー類の洗濯や交換など、環境整備、衛
-----------------------	----------	--

		<p>生管理において、最善の努力をしています。また、感染症が流行る時期には、遊具や家具の洗浄や消毒の回数を増やしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児にはランチルームや2階のフリースペース、廊下を利用し、月齢や発達の様子により集団を分けたりしながら落ち着いて過ごせるようにしています。各部屋、棚で仕切るなどをして、食事のスペース、遊び、午睡のスペースを作っています。 ・幼児は午睡時にはホールを寝る部屋として使用していますが、ハード面で空間確保が難しい部屋は、時間に余裕をもって活動することで、食べる・寝る・遊ぶなどの空間を確保しています。子どもの行動を予測し、特に食事にかかる時間は、個人差があるため、ゆっくと余裕をもち、食後の時間を落ち着いて過ごしてから寝る準備に入るようにし、手作りのジャバラ等で個別空間を作り、落ち着けるよう工夫もしています。
<p>I-3-(1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の屋内・外とも、常に清潔に保つため、毎日の部屋掃除、カバー類の洗濯や交換など、環境整備、衛生管理において、最善の努力をしています。また、感染症が流行る時期には、遊具や家具の洗浄や消毒の回数を増やしています。 ・通風・換気を確保するため、一日を通し、空気の入れ換えを行っています。 ・温湿度管理はエアコン、扇風機、空気清浄加湿器を適切に使用し、室温計で確認しながら快適な温度、湿度を保つようにしています。 ・採光は大きな窓から光を取り入れるよう窓際にはモノを置かないようにします。 ・音楽や保育者の声が騒音にならないよう部屋のドアの開閉には留意しています。
<p>I-3-(2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の屋内・外とも、常に清潔に保つため、毎日の部屋掃除、カバー類の洗濯や交換など、環境整備、衛生管理において、最善の努力をしています。また、感染症が流行る時期には、遊具や家具の洗浄や消毒の回数を増やしています。 ・通風・換気を確保するため、一日を通し、空気の入れ換えを行っています。 ・温湿度管理はエアコン、扇風機、空気清浄加湿器を適切に使用し、室温計で確認しながら快適な温度、湿度を保つようにしています。

<p>I-3-(3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児にはランチルームや2階のフリースペース、廊下を利用し、月齢や発達の様子により集団を分けたりしながら落ち着いて過ごせるようにしています。各部屋、棚で仕切るなどをして、食事のスペース、遊び、午睡のスペースを作っています。 ・幼児は午睡時にはホールを寝る部屋として使用していますが、ハード面で空間確保が難しい部屋は、時間に余裕をもって活動することで、食べる・寝る・遊ぶなどの空間を確保しています。子どもの行動を予測し、特に食事にかかる時間は、個人差があるため、ゆっくりと余裕をもち、食後の時間を落ち着いて過ごしてから寝る準備に入るようにし、手作りのジャバラ等で個別空間を作り、落ち着けるよう工夫もしています。 ・屋内で雨の日などは異年齢とのリズム計画などを取り入れて、異年齢で交流活動をする時間を設けています。異年齢グループは幼児クラス3、4、5歳を3グループに分けています。
--------------------------------------	----------	--

<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0、1、2歳児は、月間指導計画と月間個別指導計画を作成しています。個別計画では生活リズムや心身の発達、言葉や生活習慣の獲得など個人差の大きい内容は特に力を入れています。 ・幼児についても発達上の課題が見られたり、特別な配慮が必要な幼児に対しては、要支援児の個別指導計画を作成し、4期に分けて作成しています。 ・個別の目標・計画は定期的（月1回を目安）に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っています。 ・個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明・同意を得ています。定期的に面談を行う他、必要に応じてノートや日々のコミュニケーションで、細やかな情報共有を行い月間指導計画（個別？）や保育に生かしています。
-------------------------------	----------	---

<p>I-4-(1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0, 1, 2歳児は、月間指導計画と月間個別指導計画を作成しています。個別計画では生活リズムや心身の発達、言葉や生活習慣の獲得など個人差の大きい内容は特に力を入れています。 ・幼児についても発達上の課題が見られたり、特別な配慮が必要な幼児に対しては、要支援児の個別指導計画を作成し、4期に分けて作成しています。 ・個別の目標・計画は定期的（月1回を目安）に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っています。 ・個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明・同意を得ています。定期的に面談を行う他、必要に応じてノートや日々のコミュニケーションで、細やかな情報共有を行い月間指導計画（個別？）や保育に生かしています。 ・入園の際に保護者と保育士で行う面談で、「個別面談票」、「児童票」、「経過記録」、「健康台帳」はそれぞれ記載され、必要に応じて見られるようになっており、全職員で共有しています。 ・入園後の子どもの成長発達記録を毎月の「身体測定記録」を「すくすくカード」に記載し保護者に渡しています。 ・全職員が記録内容を共有できるよう「保育要録」を作成しています。これは卒園後、小学校へ引継ぎを行うことで、保育園から小学校への環境の変化をできるだけ緩やかなものにしていけるよう配慮しています。
<p>I-4-(2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園の際に保護者と保育士で行う面談で、「個別面談票」、「児童票」、「経過記録」、「健康台帳」はそれぞれ記載され、必要に応じて見られるようになっており、全職員で共有しています。 ・入園後の子どもの成長発達記録を毎月の「身体測定記録」を「すくすくカード」に記載し保護者に渡しています。 ・全職員が記録内容を共有できるよう「保育要録」を作成しています。これは卒園後、小学校へ引継ぎを行うことで、保育園から小学校への環境の変化をできるだけ緩やかなものにしていけるよう配慮しています。 ・これら書類は重要な申し送り事項として、必要に応じて進級時や転園先の保育所に伝達されます。

<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取組み</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する個別のケースはカリキュラム会議や毎日のミーティングで、職員間で状況や対応を話し合い、要支援児の個別計画は期ごとに作成しています。 ・最新の情報を共有するために気になったことは、その都度ミーティングなどで聞き周知しています。また子どもの状況を把握している職員が継続的に関わることで、連続性のあるように配慮しています。 ・共有する情報として、保護者からの引き継ぎ情報、園に配置している心理士からの情報、西部地域療育センターの巡回相談やケース会議などがあり、職員間のミーティング、カリキュラム会議、職員会議で共有し、記録を残しています。
---------------------------------	----------	--

- ・障害児保育のための環境整備として1階トイレ、玄関のスロープ、子どもトイレの手すり、階段の手すりなどのバリアフリー整備に加え、必要に応じて椅子に側板や足置きを付れたり、トイレに乳児用便座を付けています。
- ・西部地域療育センターと連携を図り、巡回相談を実施するなど、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっています。
- ・障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられています。
- ・障害児保育について全職員で学習し、障害者研修に参加しています。
- ・一人一人の特性を理解した上で、障害児と他の子どもがお互いを認め合えるように援助しています。
- ・虐待の研修は年1回行われる人権研修（11月頃～2月頃まで）の時期を目安に職員会議で子どもの人権について振り返り、周知を行っています。
- ・虐待が明白になった場合、区の子ども家庭支援課や児童相談所へ連絡することになっており、速やかな対応ができるよう電話のそばに連絡先が置いています。
- ・虐待が疑われる場合、支援家庭へ意識的な声かけを行い、日々のコミュニケーションから、相談しやすい関係づくりをしています。また、その他の家庭に対しても挨拶など、毎日、一言でも言葉を交わすようにしています。
- ・家庭支援の必要な保護者の様子を見守り、必要に応じて相談を受けています。
- ・横浜市が定めるアレルギー疾患生活管理指導表を医師が記入し、提出してもらい、アレルギー疾患生活指導表に従い対応しています。食物アレルギーマニュアルに沿って対応し、誤食のないようにしています。
- ・毎月、調理員とアレルギー会議を実施しており、ミーティングでのアレルギー確認は全クラスの職員が行っています。
- ・保護者とのアレルギー面談で、除去食メニューの確認を毎月行っています。
- ・アレルギー対応の食事の配膳は、必ずクラス担任が行い、一目でわかるように色付き食器、トレイ、名札など使用し、配膳時は、調理員・クラス担任での二重確認を行っています。アレルギー児の当番活動（5歳児クラス）は専用エプロン、帽子を着用。アレルギー対応食は担任職員が同行し、アレルギー疾患のある本人が自分の分を配るようにしています。様々なクラスの担任が関わる延長のおやつは、全園児が食べられるものにするこゝで、誤食のないようにしています。一時保育のアレルギー児に関しては、お弁当、おやつなど全て持参としています。

<p>I-5-1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する個別のケースはカリキュラム会議や毎日のミーティングで、職員間で状況や対応を話し合い、要支援児の個別計画は期ごとに作成しています。 ・最新の情報を共有するために気になったことは、その都度ミーティングなどで聞き周知しています。また子どもの状況を把握している職員が継続的に関わることで、連続性のある配慮しています。 ・共有する情報として、保護者からの引き継ぎ情報、園に配置している心理士からの情報、西部地域療育センターの巡回相談やケース会議などがあり、職員間のミーティング、カリキュラム会議、職員会議で共有し、記録を残しています。
<p>I-5-2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児保育のための環境整備として1階トイレ、玄関のスロープ、子どもトイレの手すり、階段の手すりなどのバリアフリー整備に加え、必要に応じて椅子に側板や足置きを付いたり、トイレに乳児用便座を付けています。 ・西部地域療育センターと連携を図り、巡回相談を実施するなど、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっています。 ・障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられています。 ・障害児保育について全職員で学習し、障害者研修に参加しています。 ・一人一人の特性を理解した上で、障害児と他の子どもがお互いを認め合えるように援助しています。
<p>I-5-3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の研修は年1回行われる人権研修(11月頃~2月頃まで)の時期を目安に職員会議で子どもの人権について振り返り、周知を行っています。 ・虐待が明白になった場合、区の子ども家庭支援課や児童相談所へ連絡することになっており、速やかな対応ができるよう電話のそばに連絡先が置いています。 ・虐待が疑われる場合、支援家庭へ意識的な声かけを行い、日々のコミュニケーションから、相談しやすい関係づくりをしています。また、その他の家庭に対しても挨拶など、毎日、一言でも言葉を交わすようにしています。 ・家庭支援の必要な保護者の様子を見守り、必要に応じて相談を受けています。

<p>I-5-(4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市が定めるアレルギー疾患生活管理指導表を医師が記入し、提出してもらい、アレルギー疾患生活指導表に従い対応しています。食物アレルギーマニュアルに沿って対応し、誤食のないようにしています。 毎月、調理員とアレルギー会議を実施しており、ミーティングでのアレルギー確認は全クラスの職員が行っています。 保護者とのアレルギー面談で、除去食メニューの確認を毎月行っています。 アレルギー対応の食事の配膳は、必ずクラス担任が行い、一目でわかるように色付き食器、トレイ、名札など使用し、配膳時は、調理員・クラス担任での二重確認を行っています。アレルギー児の当番活動(5歳児クラス)は専用エプロン、帽子を着用。アレルギー対応食は担任職員が同行し、アレルギー疾患のある本人が自分の分を配るようにしています。様々なクラスの担任が関わる延長のおやつは、全園児が食べられるものにするので、誤食のないようにしています。一時保育のアレルギー児に関しては、お弁当、おやつなど全て持参としています。
<p>I-5-(5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化(言語・表現・食事)や生活習慣、考え方の違いを認め尊重しており、宗教上の制約による希望があれば、除去食を提供するなどしています。 文化や生活習慣の違いは、国旗の図鑑などを使って、子ども達に様々な国や文化などを伝えたり、必要に応じて外国語を用いた資料や連絡ノートを使用しています。 意思疎通を容易にするため、平仮名表記、ローマ字での表記、ゆっくり話す、絵カードの使用など伝わりやすい工夫をしています。

<p>I-6 苦情解決体制</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第三者委員の方の連絡先は、入園のしおりの他に玄関にも掲示しています。 保護者には各クラスや玄関に意見箱を設置し、周知、改善に努めています。運動会、親子であそぼう、お楽しみ会、などでは満足度調査アンケートをとり結果を公表しています。 直接苦情を伝えにくい保護者の方のために、第三者委員の方の他に意見箱も設置しています。 第三者委員の方の連絡先が玄関や入園のしおりに記載・掲載されており直接苦情を言える仕組みがあり、かつ保護者が直接電話連絡できるようになっています。 苦情解決マニュアルを作成しており、要望や苦情の解決策が会議などを通じて職員に理解・周知されています。
-------------------	----------	--

<p>I-6-(1)保護者が保育についての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員の方の連絡先は、入園のしおりの他に玄関にも掲示しています。 ・保護者には各クラスや玄関に意見箱を設置し、周知、改善に努めています。運動会、親子であそぼう、お楽しみ会、などでは満足度調査アンケートをとり結果を公表しています。 ・文字を書くのが苦手な方には、口頭で説明したり、区への相談窓口を紹介したりしています。 ・行事の時には、第三者委員の方に来園してもらい、保護者にも顔を合わせてもらい、苦情解決窓口の紹介の機会を設けています。
<p>I-6-(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・直接苦情を伝えるにくい保護者の方のために、第三者委員の方の他に意見箱も設置しています。 ・第三者委員の方の連絡先が玄関や入園のしおりに記載・掲載されており直接苦情を言える仕組みがあり、かつ保護者が直接電話連絡できるようになっています。 ・苦情解決マニュアルを作成しており、要望や苦情の解決策が会議などを通じて職員に理解・周知されています。 ・過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し、今後に役立てられるようにファイルしています。

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

Ⅱ-1 保育内容

[遊び]

- ・子どもが主体的に活動できる環境を構成できる様、クラス会議、職員会議、カリキュラム会議などを通して子どもの成長に合わせた対応をしています。子どもの発達や、育ちをよく見て道筋を捉え、必要な配慮をしています。園内研修を行い、担任以外の意見も取り入れて保育環境を見直しています。
- ・年齢に応じた様々な素材のおもちゃを用意し、高さもクラスの年齢に合わせて自由に取り出し遊べるよう、おもちゃ棚やコーナーの工夫をしています。遊具は片づけやすいことも考慮し、棚など利用してコーナー作りに力を入れています。自由遊びができる時間を設け、好きな遊びが楽しめるようにしています。また、おもちゃをしまう場所に写真を貼り、子どもが自分で片づけられるようにしています。月齢や発達に合わせて手作りのおもちゃを作り、楽しめるようにしています。おもちゃファイルがあり、発達に合わせて入れ替えをしています。また、異年齢交流時には、危険がないか判断し、玩具の提供を行っています。
- ・遊びが一斉活動に偏らないよう、日々の生活や遊びの中から子ども達の発想を取り入れ、行事にも生かしています。保育士と一緒に遊びに関わる中で、ごっこ遊びが盛んになるようにしています。空き箱や牛乳パックなど廃材を利用して、自由に遊び道具を作れるようにしています。集団遊びでは必要に応じてルールを変更し遊びを展開しています。
- A
・「帰りの会」などで自分の考えを発表する場を設けています。年齢や発達に応じ、一斉活動が難しい子どもには、その子どもの興味もてる内容や段階を工夫し、待ち時間を短くするなどの個別配慮を行っています。
- ・動植物の飼育や栽培・園外活動などとして、子どもが外で捕まえてきた虫を飼育ケースに入れて観察飼育しているほか、毎年年長クラスで蚕を育てています。保育室に図鑑や生き物の絵本を置き、実際に触れたり調べたり興味や関心を深められるようになっていきます。収穫したものを調理員と連携して調理体験を行い、食べる機会を設けています。
- ・自然に触れたり地域や社会に関わる体験を目的として、近隣の公園に散歩に出かけ、他園や老人施設との交流を行っています。地域のお祭りに参加し、年長児が太鼓の発表をしています。お散歩マップは、子どもや保護者にもわかりやすいようにイラスト入りで作っています。散歩の様子など、クラスノートを利用して、子ども達の姿や楽しむ様子が伝わるようにしています。公園愛護会の方と一緒に、地域の公園にひまわりやチューリップの植え付けを行っています。
- ・歌やリズム、絵や文字、体を動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるような配慮として、リズム活動や、太鼓の活動を取り入れ、自由な表現の一つとして楽しめるようにしています。様々な廃材を用意して、創造力豊かに製作できるようにしています。指先を

使った遊びができるようにマグネット板や、シール、箸あそびなどを用意しています。時計の周りにイラストが貼ってあり数字が読めない子どもにも時間がわかるようにしています。

- ・子どもの作品はクラス内だけでなく、階段スペースに飾ったりして他クラスの保護者や地域の人にも見てもらえるようにしています。壁に大きな紙を貼り、ダイナミックな描画を楽しめる機会を設けています。一人一人にお絵かき帳を作り、いつでも自由に絵が描けるようにしています。

- ・遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つような配慮として、喧嘩については年齢や状況に応じ、解決のヒントや相手の気持ちを伝えるよう援助しています。年齢によっては喧嘩を見守り、子ども達で話し合うように促しています。

- ・幼児は週に1度異年齢で過ごす時間を設けています。週案の計画を立案する際に、各クラスの担任が代表で集まり、計画的に異年齢でリズムや散歩を行えるよう話し合いをしています。年長児が乳児の午睡明けのお手伝いをしています。異年齢交流の中で、より小さな子どもへのお世話をすることで、クラス内では力を発揮しきれない子どもも、自信をもって活動する機会となっています。また、自然と大きい子どもへの憧れをもつ機会ともなっています。

- ・遊びを通じた積極的な健康増進としては園庭に築山があり、子ども達が上り下りできる斜面があります。外遊びが十分できるように、乳児、幼児で連携して活動の場を確保しています。戸外遊びの時、園庭の各所に蚊取り線香をつけるなど蚊に刺されないような工夫をしています。虫さされなどで腫れてしまう子どもには長袖・長ズボンに着替えるなどの配慮をしています。ベビーカーに虫除けをつけて対応しています。他にも花粉症用の眼鏡・マスクなどの個別対応もしています。既往症に配慮し個別に対応し活動を決めたりしています。夏には遮光ネットをはり、日陰を作り、日が当たりすぎないようにしています。夏の暑い日は涼しくしてから戸外遊びをしています。小麦アレルギーの子どもがいる時は、片栗粉で小麦粉粘土のかわりで遊ぶなど対応しています。クラス帽子をかぶって散歩や外遊びをしています。

[生活]

- ・食事を豊かに楽しむ工夫として園での栽培活動を経験したり、芋掘りなどの実体験を通じて収穫物を使って調理したりして食べることによって、食への関心を持つようにしています。また、お散歩では、園の周りの豊かな自然を子供たちが十分に感じられるよう工夫しています。子どもの好き嫌いや体調をなど考慮し、量の加減をすることで、食事を楽しめるようにしています。「おいしいね」「いいにおいだね」など、食事を楽しめるような言葉かけをしています。一人一人に声掛けをして自分のものと分かるように配膳しています。そら豆枝豆トウモロコシなどの皮むきなどの経験をし、食材や献立に興味や関心を持つようにしています。

- ・調理業務は外部に委託されていますが、やりとりを細やかにに行い、子供たちが栽培した野菜を自分達で調理して食べる機会を設けています。調理員に各クラスを回ってもらい、喫食状況など見てもらっています。
- ・冷凍母乳や家庭で慣れている哺乳瓶の種類など希望に応じて対応しています。授乳は抱っこして目と目を合わせ、声をかけることが基本であり、その大切さを保護者にも伝えています。授乳は一人一人の状況に応じ臨機応変に対応しています。
- ・食事の場、食材、食器等への配慮として、食事には旬の野菜を提供しています。七夕のそうめんの人参を星型にするなど、行事の時の食事内容の工夫をしています。年齢だけでなく、一人一人の発達に応じて、刻みかたや盛り付け方を工夫しています。食事の時にテーブルに花を飾るなどして、雰囲気作りに配慮しています。磁器食器を使用することにより、安定感があり、子ども達も丁寧に扱っています。スプーンやフォーク、箸などの食具について調理員と話し合い、子どもに合わせた食具を使用しています。異年齢で食事を一緒にする機会も設けています。子ども向け献立表「ばくばくだより」を給食当番や保育士が献立とともに読むことで、食材や食事に興味をもてるようにしています。
- ・子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理への工夫として、献立は半月ごとに同様のメニューを提供することで食材やメニューに馴染めるよう配慮しています。また、喫食状況を伝えることで、必要に応じて、1回目と2回目の盛り付けや切り方を変えるなど、子どもに合わせた対応ができるようにしています。調理員が食事の様子を見に来て、喫食状況や食材の切り方など担任とともに確認しています。子どもに合わせて量を調節しています。ミーティングで調理員と喫食状況について報告や情報共有を行っています。
- ・子どもの食生活に関する家庭との連携として、給食の実物サンプルと写真を掲示し、保護者にどのようなものを食べているかがわかるようにしています。献立表は前月末に配布し、人気メニューのレシピを保護者に伝えています。保育参加時に保護者への試食の機会を設けています。園だよりに年に5回、調理員からのコメントや食育活動の様子を載せて食事に対する関心をもてるようにしています。
- ・毎月離乳食会議を行い、初期、中期などの枠よりも細かく一人一人に合わせて提供しています。離乳食は、毎月発達に合わせたメニューを掲示し、食材について保護者に伝えています。離乳食の子どもは、新しい食材が出るときは家庭で試してもらいアレルギーの有無を確認しています。
- ・午睡や休息に関しては、子守唄を歌ったり、読み聞かせの本を読んだり、身体をさすったりと落ち着いて眠りにつけるようにしています。眠れない子どもが静かに過ごせるように、ついたてなどでコーナーを作ったり、別室で過ごしたりするなどの配慮をしています。一日の活動量を配慮し、体を休める時間の必要性を子どもにも伝え

		<p>ながら、休息する時間をもつようにしています。プレスチェックはチェックシートがあり、うつぶせ寝はしないようにしています。乳児は午前寝する子どもや、早く眠ってしまう子どもなど、一人一人に合わせた睡眠がとれるように職員間で話し合っ対応しています。就学前の時期は午睡時間や寝る日を少しずつ減らしているが、子どもの状況により体を休める時間、静かに過ごす時間も作っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関しては、一人一人の排泄のタイミングを見て、トイレに誘っています。トイレに行くことを無理強いせず、気持ちを受け止めながら排泄を促しています。トイレトレーニングは保護者と連携をとり、一人一人丁寧に行っています。漏らしてしまったときは、素早く対応できるように専用の雑巾を用意し、子どもの人権について話し合う機会を作り、心を傷つける対応をしていないか、職員一人一人が振り返るようにしています。シャワーはカーテンで仕切られるようになっており、プライバシーが守れるようになっています。乳児にはペーパーが取りやすいように1回分ずつ落とし紙を用意しています。 ・長時間保育への対応としては、延長保育で使う部屋以外にも、くつろいで過ごせるように他の部屋やスペースが利用できるようになっています。クラスごとに引き継ぎノートがあり、伝達事項が伝わるようにしています。長時間いる子どもの遊びを工夫しています（玩具の入れ替え、絵本や紙芝居の時間を設けるなど）。延長保育利用児は、登園時に前日の降園時の様子を踏まえて体調など注意深く見て保護者と話すようにしています。シフト勤務を行うことで、担任が保護者と顔を合わせる機会が増え、コミュニケーションを十分にとれるようになっています。
<p>[遊び] II-1-(1)子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた様々な素材のおもちゃを用意し、自由に取っ出し遊べるよう、おもちゃ棚やコーナーの工夫をしています。 ・園内研修を行い、担任以外の意見も取り入れて、環境を見直しています。 ・片づけやすいことも考慮し、棚など利用してコーナー作りに力を入れています。 ・おもちゃをしまう場所に写真を貼り、子どもが自分で片づけられるようにしています。 ・月齢や発達に合わせ手作りでおもちゃを作り、楽しめるようにしています。 ・おもちゃファイルが有り、発達に合わせて入れ替えをしています。 ・異年齢交流時には、危険がないか判断し、玩具の提供を行っています。 ・自由遊びができる時間を設け、好きな遊びが楽しめるようにしています。

<p>Ⅱ－１－(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活や遊びの中から、子ども達の発想を取り入れ、行事にも生かしています。 ・保育士と一緒に遊びに関わる中で、ごっこ遊びが盛んになるようにしています。 ・空き箱や牛乳パックなど廃材を利用して、自由に遊び道具を作れるようにしています。 ・帰りの会などで自分の考えを発表する場を設けています。 ・集団遊びでは必要に応じてルールを変更し遊びを展開しています。 ・年齢や発達に応じ、一斉活動が難しい子どもには、その子どもの興味もてる内容や段階を工夫し、待ち時間を短くするなどの個別配慮を行っています。
<p>Ⅱ－１－(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが外で捕まえてきた虫を飼育ケースに入れて観察飼育しています。 ・毎年年長クラスで蚕を育てています。 ・収穫したものを調理員と連携して調理体験を行い、食べる機会を設けています。 ・保育室に凶鑑や生き物の絵本を置き、実際に触れたり調べたり興味や関心を深められるようになっています。 ・近隣の公園に散歩に出かけ、他園や老人施設との交流を行っています。 ・地域のお祭りに参加し、年長児が太鼓の発表をしています。 ・お散歩マップは、子どもや保護者にもわかりやすいようにイラスト入りで作っています。 ・散歩の様子など、クラスノートを利用して、子ども達の姿や楽しむ様子が伝わるようにしています。 ・公園愛護会の方と一緒に、地域の公園にひまわりやチューリップの植え付けを行っています。
<p>Ⅱ－１－(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、体を動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム活動や、太鼓の活動を取り入れ、自由な表現の一つとして楽しめるようにしています。 ・様々な廃材を用意して、創造力豊かに製作できるようにしています。 ・指先を使った遊びができるようにマグネット板や、シール、箸あそびなどを用意しています。 ・時計の周りにイラストが貼ってあり数字が読めない子どもにも時間がわかるようにしています。 ・子どもの作品はクラス内だけでなく、階段スペースに飾ったりして他クラスの保護者や地域の人にも見てもらえるようにしています。 ・壁に大きな紙を貼り、ダイナミックな描画を楽しめる機会を設けています。 ・一人一人にお絵かき帳を作り、いつでも自由に絵が描けるようにしています。

<p>Ⅱ－１－(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・喧嘩については、年齢や状況に応じ、解決のヒントや相手の気持ちを伝えるよう援助しています。 ・年齢によっては喧嘩を見守り、子ども達で話し合うように促しています。 ・幼児は週に1度異年齢で過ごす時間を設けています。 ・週案の計画を立案する際に、各クラスの担任が代表で集まり、計画的に異年齢でリズムや散歩を行えるよう話し合いをしています。 ・年長児が乳児の午睡明けのお手伝いをしています。 ・異年齢交流の中で、より小さな子どもへのお世話をすることで、クラス内では力を発揮しきれない子どもも、自信をもって活動する機会となっています。また、自然と大きい子どもへの憧れをもつ機会ともなっています。
<p>Ⅱ－１－(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭に築山があり、子ども達が上り下りできる斜面があります。 ・外遊びが十分できるように、乳児、幼児で連携して活動の場を確保しています。 ・戸外遊びの時、園庭の各所に蚊取り線香をつけるなど蚊に刺されないような工夫をしています。 ・虫さされなどで腫れてしまう子どもには長袖・長ズボンに着替えるなどの配慮をしています。 ・ベビーカーに虫除けをつけて対応しています。他にも花粉症用の眼鏡・マスクなどの個別対応もしています。 ・既往症に配慮し個別に対応し活動を決めたりしています。 ・夏には遮光ネットをはり、日陰を作り、日が当たりすぎないようにしています。 ・夏の暑い日は涼しくなってから戸外遊びをしています。 ・小麦アレルギーの子どもがいる時は、片栗粉で小麦粉粘土のかわりで遊ぶなど対応しています。 ・クラス帽子をかぶって散歩や外遊びをしています。
<p>[生活] Ⅱ－１－(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの好き嫌いや体調をなど考慮し、量の加減をすることで、食事を楽しめるようにしています。「おいしいね」「いいにおいだね」など、食事を楽しめるような言葉かけをしています。 ・一人一人に声掛けをして自分のものと分かるように配膳しています。 ・調理業務は委託されているが、やりとりを細やかに行い、栽培した野菜を自分達で調理して食べる機会を設けています。 ・そら豆枝豆トウモロコシなどの皮むきなどの経験をし、食材や献立に興味や関心を持つようにしています。 ・調理員に各クラスを回ってもらい、喫食状況など見てもらっています。 ・冷凍母乳や家庭で慣れている哺乳瓶の種類など希望に応じて対応しています ・授乳は抱っこして目と目を合わせ、声をかけることが基本であり、その大切さを保護者にも伝えていきます。 ・授乳は一人一人の状況に応じ臨機応変に対応しています。

<p>Ⅱ－1－(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の野菜を提供しています。 ・七夕のそうめんの人参を星型にするなど、行事の時の食事内容の工夫をしています。 ・年齢だけでなく、一人一人の発達に応じて、刻みかたや盛り付け方を工夫しています。 ・食事の時にテーブルに花を飾るなどして、雰囲気作りに配慮しています。 ・磁器食器を使用することにより、安定感があり、子ども達も丁寧に扱っています。 ・スプーンやフォーク、箸などの食具について調理員と話し合い、子どもに合わせた食具を使用しています。 ・異年齢で食事を一緒にする機会も設けています。 ・子ども向け献立表「ぱくぱくだより」を給食当番や保育士が献立とともに読むことで、食材や食事に興味をもてるようにしています。
<p>Ⅱ－1－(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に生かしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・献立は、半月ごとに同様のメニューを提供することで食材やメニューに馴染めるよう配慮しています。また、喫食状況を伝えることで、必要に応じて、1回目と2回目の盛り付けや切り方を変えるなど、子どもに合わせた対応ができるようにしています。 ・調理員が食事の様子を見に来て、喫食状況や食材の切り方など担任とともに確認しています。 ・子どもに合わせて量を調節しています。 ・毎月離乳食会議を行い、初期、中期などの枠よりも細かく一人一人に合わせて提供しています。 ・ミーティングで調理員と喫食状況について報告や情報共有を行っています。
<p>Ⅱ－1－(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の実物サンプルと写真を掲示し、保護者にどのようなものを食べているかがわかるようにしています。 ・離乳食は、毎月発達に合わせたメニューを掲示し、食材について保護者に伝えています。 ・献立表は前月末に配布しています。 ・人気メニューのレシピを保護者に伝えています。 ・離乳食の子どもは、新しい食材が出るときは家庭で試してもらいアレルギーの有無を確認しています。 ・保育参加時に保護者への試食の機会を設けています。 ・園だよりに年に5回、調理員からのコメントや食育活動の様子を載せて食事に対する関心をもてるようにしています。

<p>Ⅱ－１－(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子守唄を歌ったり、読み聞かせの本を読んだり、身体をさすったりと落ち着いて眠りにつけるようにしています。 ・眠れない子どもが静かに過ごせるように、ついたてなどでコーナーを作ったり、別室で過ごしたりするなどの配慮をしています。 ・一日の活動量を配慮し、体を休める時間の必要性を子どもにも伝えながら、休息する時間をもつようにしています。 ・ブレスチェックはチェックシートがあり、うつぶせ寝はしないようにしています。 ・乳児は午前寝する子どもや、早く眠ってしまう子どもなど、一人一人に合わせた睡眠がとれるように職員間で話し合っ対応しています。 ・就学前の時期は午睡時間や寝る日を少しずつ減らしているが、子どもの状況により体を休める時間、静かに過ごす時間も作っています。
<p>Ⅱ－１－(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の排泄のタイミングを見て、トイレに誘っています。 ・トイレに行くことを無理強いせず、気持ちを受け止めながら排泄を促しています。 ・トイレトレーニングは保護者と連携をとり、一人一人丁寧に行っています。 ・漏らしてしまったときは、素早く対応できるように、専用の雑巾を用意しています。 ・子どもの人権について話し合う機会を作り、心を傷つける対応をしていないか、職員一人一人が振り返るようにしています。 ・シャワーはカーテンで仕切られるようになっており、プライバシーが守れるようになっていました。 ・乳児にはペーパーが取りやすいように1回分ずつ落とし紙を用意しています。
<p>Ⅱ－１－(13)長時間にわたる保育のための環境を整え、配慮した保育が行われているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育で使う部屋以外にも、くつろいで過ごせるように他の部屋やスペースが利用できるようになっています。 ・クラスごとに引き継ぎノートがあり、伝達事項が伝わるようにしています。 ・長時間いる子どもの遊びを工夫しています。（玩具の入れ替え、絵本や紙芝居の時間を設けるなど） ・延長保育利用児は、登園時に前日の降園時の様子を踏まえて体調など注意深く見て保護者と話すようにしています。 ・シフト勤務を行うことで、担任が保護者と顔を合わせる機会が増え、コミュニケーションを十分にとれるようになっています。

<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理</p>	<p>A</p>	<p>[健康管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康管理では、アレルギー、熱性けいれん、肝内障、については特に全職員がわかり、対応できるよう表にし、各クラスに置いています。連絡帳や口頭で健康状態を把握し、前日の体調や傷など保護者に確認してい
---------------------------	----------	---

ます。予防接種を受けた時は、その都度、または年度末の懇談会時に健康台帳など確認、新しい情報を追記してもらっています。配慮が必要な子どもの情報をミーティングやカリキュラム会議で共有しています。

- ・手洗い場の鏡の前に「正しい手洗いの順番」を分かりやすい絵で示しています。健康管理、感染症、衛生管理の各マニュアルがあり、全職員がいつでも見られるようにしています。看護師による保健指導の計画があり、子どもにわかりやすく咳エチケットや手洗いのし方などを伝える場があります。
- ・健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、情報共有を行っています。結果によっては受診をしてもらうよう働きかけています。事務所横に嘱託医の写真を掲示しており、保護者に伝えることで安心感を持てるようにしています。健康台帳に健診結果を記録しています。看護師とも連携し、子どもの健康に細心の注意を払っています。毎月の園だよりを嘱託医に届けることで、連携を図る機会を定期的にもっています。歯科健診時に歯科衛生士に歯磨き指導を受けています（赤染）。歯磨き指導の年齢別計画表があり、指導計画に組み入れ行っています。0歳児は特に、食事の最後にお茶を飲み、口の中をきれいに保つようにしています。
- ・感染症への対応マニュアルがあり、保護者への徹底については、保育園の子どもが感染症を発症または地域などで感染症の流行が見られたときには情報提供をし、掲示や送迎時の手洗いの励行など注意喚起を行い保護者に知らせています。嘔吐（ノロウイルス含む）対応用のセットがあり、嘔吐時に速やかに対応できるようになっています。保育中に発熱などあった場合、看護師に確認してもらい、事務室で預かり園児の様子を注意深く見守っています。看護師が日々クラスを巡回し、園児の健康を把握しています。ミーティングで最新の感染症情報を共有しています。保護者に伝える感染症情報には、感染期間や症状、登園の目安などわかりやすく記載しています。

[衛生管理]

- ・衛生管理の適切な運営に関しては、トイレや室内の各場所に清掃の仕方マニュアルが貼ってあり、誰でもわかるようになっています。トイレ清掃などチェック表で漏れの無いようにしています。
- ・感染症対応については会議などで確認しています。衛生管理マニュアルの変更がある場合看護師が全クラス分変更しています。
- ・0歳児室は毎日床、壁、玩具の消毒を行い清潔にしています。
- ・吐しゃ物の片付け方は写真つきのマニュアルを掲示し、速やかに対応できるようにしています。
- ・食事時の台布巾はピューラックスで毎回消毒し、害虫駆除対策としてコンバットを置いています。

[安全管理]

- ・安全管理にマニュアルの事故や災害に備えた実施については、マニュアルや避難訓練の計画表を基に毎月実施し、

		<p>周知できるようにしています。玄関にAEDが設置され、家具は壁や床に固定してあり、戸棚も開かないようにしています。民間警備会社と契約し、非常時には通報できる仕組みになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール活動は見守りに特化した職員を必ず置き、保育する職員と複数になるようにしています。救急救命の研修に参加した職員が全職員に報告しています。 ・事故や怪我の発生時及び事後の対応体制の確立に関しては、毎日のミーティングでけがや事故の報告を行い、検討もしています。医療機関の一覧表がファイリングしてあり、すぐに連絡できるようになっています。軽傷の場合も日誌に状況を記載し、ミーティングで伝えています。また、保護者にも担任や遅番職員が伝えています。事故後、事故報告書を作成し、皆で情報を共有し、再発防止に努めています。 ・散歩時は行先、人数を散歩ノートに記載し、携帯電話、防犯ブザーを持参し応援体制を整えています。緊急時には、落ち着いて連絡がとれるよう、連絡の手順が電話のそばに記載されています。 ・外部からの侵入に対する対応策や整備としては、定期的には不審者訓練を行っています。不審者対応マニュアルがあり訓練を行うことで、子どもを誘導する職員、不審者に対応する職員、通報する職員に分かれて対応ができるようにしています。不審者対応に際しては、必要以上に子どもを怖がらせることのないように、集まる時の合言葉を決めています。門は電子錠になっており、常時施錠されています。来園者はインターフォンで確認し開錠しています。午睡時は各部屋の窓、出入り口を施錠しています。また、必要に応じて区より不審者の情報が得られるようになっています。
<p>[健康管理] II-2-(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー、熱性けいれん、肘内障、については特に全職員がわかり、対応できるよう表にし、各クラスに置いています。 ・連絡帳や口頭で健康状態を把握し、前日の体調や傷など保護者に確認しています。 ・予防接種を受けた時は、その都度、または年度末の懇談会時に健康台帳など確認、新しい情報を追記してもらっています。 ・配慮が必要な子どもの情報をミーティングやカリキュラム会議で共有しています。 ・手洗い場の鏡の前に「正しい手洗いの順番」を分かりやすい絵で示しています。 ・健康管理、感染症、衛生管理の各マニュアルがあり、全職員がいつでも見られるようにしています。 ・看護師による保健指導の計画があり、子どもにわかりやすく咳エチケットや手洗いの仕方などを伝える場があります。

<p>II-2-2(2)健康診断・歯科検診の結果を保育に反映させているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果を保護者に伝え、情報共有を行っています。結果によっては受診をしてもらうよう働きかけています。 ・事務所横に嘱託医の写真を掲示しており、保護者に伝えることで安心感を持てるようにしています。 ・健康台帳に健診結果を記録しています。 ・看護師とも連携し、子どもの健康に細心の注意を払っています。 ・毎月の園だよりを嘱託医に届けることで、連携を図る機会を定期的にもっています。 ・歯科健診時に歯科衛生士に歯磨き指導を受けています(赤染)。歯磨き指導の年齢別計画表があり、指導計画に組み入れ行っています。 ・0歳児は特に、食事の最後にお茶を飲み、口の中をきれいに保つようしています。
<p>II-2-2(3)感染症への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の子どもが感染症を発症または、地域などで感染症の流行が見られたときには情報提供をし、掲示や送迎時の手洗いの励行など注意喚起を行い保護者に知らせています。 ・嘔吐（ノロウイルス含む）対応用のセットがあり、嘔吐時に速やかに対応できるようになっています。 ・保育中に発熱などあった場合、看護師に確認してもらい、事務室で預かり園児の様子を注意深く見守っています。 ・看護師が日々クラスを巡回し、園児の健康を把握しています。 ・ミーティングで最新の感染症情報を共有しています。 ・保護者に伝える感染症情報には、感染期間や症状、登園の目安などわかりやすく記載しています。
<p>[衛生管理] II-2-2(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレや室内の各場所に清掃の仕方マニュアルが貼ってあり、誰でもわかるようになっています。 ・トイレ清掃などチェック表で漏れの無いようにしています。 ・感染症対応については会議などで確認しています。 ・衛生管理マニュアルの変更がある場合看護師が全クラス分変更しています。 ・0歳児室は毎日床、壁、玩具の消毒を行い清潔にしています。 ・吐しゃ物の片付け方は写真つきのマニュアルを掲示し、速やかに対応できるようにしています。 ・食事時の台布巾はピューラックスで毎回消毒しています。 ・害虫駆除でコンバットを置いています。
<p>[安全管理] II-2-2(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルや避難訓練の計画表を基に毎月実施し、周知できるようにしています。 ・玄関にAEDが設置されています。 ・家具は壁や床に固定してあり、戸棚も開かないようにしています。 ・プール活動は見守りに特化した職員を必ず置き、保育する職員と複数になるようにしています。 ・民間警備会社と契約し、非常時には通報できる仕組みになっています。 ・救急救命の研修に参加した職員が全職員に報告しています。

<p>II-2-(6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングでけがや事故の報告を行い、検討もしています。 ・医療機関の一覧表がファイリングしてあり、すぐに連絡できるようになっています。 ・軽傷の場合も日誌に状況を記載し、ミーティングで伝えていきます。また、保護者にも担任や遅番職員が伝えていきます。 ・事故後、事故報告書を作成し、皆で情報を共有し、再発防止に努めています。 ・散歩時は行先、人数を散歩ノートに記載し、携帯電話、防犯ブザーを持参し応援体制を整えています。 ・緊急時には、落ち着いて連絡がとれるよう、連絡の手順が電話のそばに記載されています。
<p>II-2-(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に不審者訓練を行っています。 ・不審者対応マニュアルがあり、訓練を行うことで、子どもを誘導する職員、不審者に対応する職員、通報する職員に分かれて対応ができるようにしています。 ・不審者対応に際しては、必要以上に子どもを怖がらせることのないように、集まる時の合言葉を決めています。 ・門は電子錠になっており、常時施錠されています。来園者はインターフォンで確認し開錠しています。 ・午睡時は各部屋の窓、出入り口を施錠しています。 ・必要に応じて区より不審者の情報が得られるようになっています。

<p>II-3 人権の尊重</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育中の子どもの呼び方や叱り方など、子どもの人格尊重を意識した保育については、全職員が年に1回の人権研修に参加し、それぞれの職員が研修報告をすることで、人権感覚を高められるようにしています。個別対応については、担任間で話し合い、色々な意見を交換し、どのようにしていくのが最善なのかを客観的に判断しています。場合によっては、園長や副園長、主任、相談し対応しています。話をする際子どもの気持ちに寄り添い、思いを受け止めるようにしています。 ・必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫については、話をする場所も配慮し、必要性や要望に応じてホールや支援スペースなどを使用しています。仕切りがすぐできるよう衝立を作り、押入れ下の空間を利用するなど子どもが入って落ち着いて過ごせるような場所を確保しています。牛乳パックや段ボール等で仕切りにしたり、入ったりできるようにしてあり、一人遊びの空間を作れるようにしています。支援ルームや一時保育室、ランチルームなど職員と連携を図りながら、一対一で落ち着いて話せる場所があります。 ・個人情報の取り扱いや守秘義務については、保護者に入園時に説明を行っています。個別に配布するお便りや個人ノートは、ダブルチェックをして間違いのないように配布しています。また、個人ノートはジッパー付の袋に入れて渡すようにしています。個人情報は鍵のかかる書
-------------------	----------	--

		<p>庫に保管しています。実習生やボランティアに対しては、オリエンテーションの中で守秘義務について説明しています。個人情報の取り扱いについては、マニュアルがあることを全職員に周知しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性差への先入観による役割分業意識を植え付けない配慮としては、公の場では〇〇さんと呼んでいます。ままごとのスカート、ドレス、エプロンなど男女を問わず使えるようにしています。男女の区別なくおもちゃを自由に選んで遊べるようにしています。性差で色の区別をしないようにしています。職員は人権研修などを通し、性差についての意識を高め固定観念を持たないようにしています。
<p>Ⅱ－３－(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が年に1回の人権研修に参加し、それぞれの職員が研修報告をすることで、人権感覚を高められるようにしています。 ・個別対応については、担任間で話し合い、色々な意見を交換し、どのようにしていくのが最善なのかを客観的に判断しています。場合によっては、園長や副園長、主任、相談し対応しています。 ・話をする際子どもの気持ちに寄り添い、思いを受け止めるようにしています。話をする場所も配慮しています。
<p>Ⅱ－３－(2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がなされているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性や要望に応じてホールや支援スペースなどを使用しています。 ・仕切りがすぐできるような衝立を作り、押入れ下の空間を利用するなど子どもが入って落ち着いて過ごせるような場所を確保しています。 ・牛乳パックや段ボール等で仕切りにしたり、入ったりできるようにしてあり、一人遊びの空間を作れるようにしています。 ・支援ルームや一時保育室、ランチルームなど職員と連携を図りながら、一対一で落ち着いて話せる場所があります。
<p>Ⅱ－３－(3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・守秘義務については、保護者に入園時に説明を行っています。 ・個別に配布するお便りや個人ノートは、ダブルチェックをして間違いのないように配布しています。また、個人ノートはジッパー付の袋に入れて渡すようにしています。 ・個人情報は鍵のかかる書庫に保管しています。 ・実習生やボランティアに対しては、オリエンテーションの中で守秘義務について説明しています。 ・個人情報の取り扱いについては、マニュアルがあることを全職員に周知しています。

<p>Ⅱ-3-(4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公の場では〇〇さんと呼びます。 ・ままごとのスカート、ドレス、エプロンなど男女を問わず使えるようにしています。 ・男女の区別なくおもちゃを自由に選んで遊べるようにしています。 ・性差で色の区別をしないようにしています。 ・職員は人権研修などを通し、性差についての意識を高め固定観念を持たないようにしています。
---	----------	---

<p>Ⅱ-4 保護者との交流・連携</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が保育の基本方針を理解できるような取組みとして各クラスに保育方針、月のねらいを掲示しています。各クラスにみんなの声（意見箱）を設置し保護者の意見を聞く様にしています。懇談会、入園説明会で、保育方針の説明をしています。満足度調査を実施し、保護者の意見を聞く機会が設けられています。園だよりにクラスだよりの欄を設けて、各クラスがどのようなねらいをもって、保育にあたっているのかが伝わるようにしています。 ・個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等の実施対応については、子どもや家族の状況に合わせ、連絡帳、クラスノートの他に、直接会って話すことを大切に保育にあたっています。兄弟ケースには、混乱を防ぐため、重複して伝えないように、担任間で話し合い行っています。年間行事予定表を年度初めに配布したり、各行事前にはもう一度案内の文面を掲示したりして、保育参加や懇談会への参加を働きかけています。保育参加は約2か月の日程を設け、予定を組みやすいようにしています。また、必要に応じて、その日程以外にも柔軟に受け入れを行なっています。 ・保護者の相談への対応としては、面談はランチルームを利用して周囲にもわかるよう表示をして、他の人が入室しないようにしています。個人の面談票があり、次年度へ引き継げるようになっていきます。対応は一人やクラスのみでなく、園長・心理士の助言をもらい行っています。相談内容はクラス間で共有して一貫した対応ができるようにしています。個人面談は設定した期間以外でも保護者の希望に応じ行うようにしています。面談で得た情報は、必要に応じて、ミーティングや会議などで全職員が共有しています。職員はカウンセリングや養育支援の研修を受講し、必要に応じて会議などで園長や心理士の助言を受けています。 ・保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報の提供については、日々の保育の様子はクラスノート、連絡帳で、保護者に伝えています。また、随時、写真を掲載した「みんなのえがお」を発行し、より伝わりやすい工夫をしています。毎月の園だよりは、年度末に次年度の内容を検討・計画して、発行するようにしています。行事の前にはクラスの見どころを発行し、行事の取り組みへの理解を深めています。玄関に各クラスの絵本紹介
-----------------------	----------	---

		<p>のコーナーがあり、毎月絵本を飾り、保護者に子どもに人気の絵本などの紹介をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の保育参加を進めるための工夫としては、保護者の都合に合わせて、保育参加月間以外でも個別の相談に応じて保育参加を受け入れています。4月に配布している年間行事予定の中に記載し年度初めに配布しています。クラスに予定表を貼り、保護者参加行事に参加しやすいようにしています。懇談会に出席できなかった保護者にはレジュメとともに、口頭でも伝えています。 ・保護者の自主的な活動への援助や意見交換については、保護者会の集まりなどは、活動しやすいように保育室を提供しています。園長や副園長、主任が出勤していつでも相談に応じられるようにしています。また、必要に応じて参加しています。 ・いもほり、人形劇、芸術鑑賞会など保護者会と協力して取り組んでいます。保護者会とのやりとりの窓口を主任に一本化し、対応がバラバラにならないように配慮しています。
<p>Ⅱ－４－(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスに保育方針、月のねらいを掲示しています。 ・各クラスにみんなの声（意見箱）を設置し保護者の意見を聞く様にしています。 ・懇談会、入園説明会で、保育方針の説明をしています。 ・満足度調査を実施し、保護者の意見を聞く機会が設けられています。 ・園だよりにクラスだよりの欄を設けて、各クラスがどのようなねらいをもって、保育にあたっているのかが伝わるようにしています。
<p>Ⅱ－４－(2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや家族の状況に合わせ、連絡帳、クラスノートの他に、直接会って話すことを大切にして保育にあたっています。 ・兄弟ケースには、混乱を防ぐため、重複して伝えないように、担任間で話し合い行っています。 ・年間行事予定表を年度初めに配布したり、各行事前にはもう一度案内の文面を掲示したりして、保育参加や懇談会への参加を働きかけています。 ・保育参加は約2か月の日程を設け、予定を組みやすいようにしています。また、必要に応じて、その日程以外にも柔軟に受け入れを行なっています。

<p>Ⅱ－４－(3)保護者の相談に応じているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面談はランチルームを利用して、周囲にもわかるよう表示をして、他の人が入室しないようにしています。 ・個人の面談票があり、次年度へ引き継げるようになっていきます。 ・対応は一人やクラスのみでなく、園長・心理士の助言をもらい行っています。 ・相談内容はクラス間で共有して一貫した対応ができるようにしています。 ・個人面談は設定した期間以外でも保護者の希望に応じ行うようにしています。 ・面談で得た情報は、必要に応じて、ミーティングや会議などで全職員が共有しています。 ・職員はカウンセリングや養育支援の研修を受講し、必要に応じて会議などで園長や心理士の助言を受けています。
<p>Ⅱ－４－(4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の様子はクラスノート、連絡帳で、保護者に伝えています。また、随時、写真を掲載した「みんなのえがお」を発行し、より伝わりやすい工夫をしています。 ・毎月の園だよりは、年度末に次年度の内容を検討・計画して、発行するようにしています。 ・行事の前にはクラスの見どころを発行し、行事の取り組みへの理解を深めています。 ・玄関に各クラスの絵本紹介のコーナーがあり、毎月絵本を飾り、保護者に子どもに人気の絵本などの紹介をしています。
<p>Ⅱ－４－(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の都合に合わせて、保育参加月間以外でも個別の相談に応じて保育参加を受け入れています。 ・４月に配布している年間行事予定の中に記載し年度初めに配布しています。 ・クラスに予定表を貼り、保護者参加行事に参加しやすいようにしています。 ・懇談会に出席できなかった保護者にはレジュメとともに、口頭でも伝えています。
<p>Ⅱ－４－(6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の集まりなどは、活動しやすいように保育室を提供しています。 ・園長や副園長、主任が出勤していつでも相談に応じられるようにしています。また、必要に応じて参加しています。 ・いもほり、人形劇、芸術鑑賞会など保護者会と協力して取り組んでいます。 ・保護者会とのやりとりの窓口を主任に一本化し、対応がバラバラにならないように配慮しています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子育てニーズの把握として、センター園ということで専任保育士がおり、情報の提供、収集がしやすい点を活かし、地域のニーズに合わせてランチ交流や育児講座などを行っています。地域向けの行事では必ずアンケートをとってニーズや感想を聞き、地域のサロンやひろばで地域と交流をして、相談を受けています。また、相談内容を生かして、育児講座の内容に反映させています。エリア会議、ネットワーク会議に参加することで、それぞれのエリアの反省点や工夫点を参考にする機会としています。 ・ 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を生かしたサービスの提供については、職員会議に育児支援の担当が出席し、話しあっています。施設の専門性を生かしたサービスの提供取組みとして、地域の親子を対象に絵本の貸し出し、育児講座、身体計測、誕生会でのお祝い、誕生カードをプレゼント、手作りおもちゃの紹介など行っています。平日には、お弁当広場を開き、保護者同士の交流の場とし、みんなで楽しく食べる時間を設けています。また、安心、安全な環境のもとで集えるように赤ちゃん親子の集まる日を設けています。 ・ 地域の方用の畑のスペースを設けて、野菜の植え付けや水やり、収穫、調理に親子で関わったり、ランチルーム、ホール、園庭を地域の人に開放しています。 ・ 旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこ、あかちゃん教室、サロンなどで育児講座の講師を担当したり、子育て支援員の実習・研修を行っています。
<p>Ⅲ-1-(1) 地域の子育てニーズを把握するための取組をおこなっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域向けの行事では必ずアンケートをとってニーズや感想を聞いています。 ・ 地域のサロンやひろばで地域と交流をして、相談を受けています。また、相談内容を生かして、育児講座の内容に反映させています。 ・ エリア会議、ネットワーク会議に参加することで、それぞれのエリアの反省点や工夫点を参考にする機会としています。
<p>Ⅲ-1-(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を生かしたサービスを提供しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員会議に育児支援の担当が出席し、話しあっています。 ・ 地域の親子を対象に絵本の貸し出し、育児講座、身体計測、誕生会でのお祝い、誕生カードをプレゼント、手作りおもちゃの紹介など行っています。 ・ 平日お弁当広場を開き、保護者同士の交流の場とし、みんなで楽しく食べる時間を設けています。 ・ 安心、安全な環境のもとで集えるように赤ちゃん親子の集まる日を設けています。 ・ 地域の方用の畑のスペースを設けて、野菜の植え付けや水やり、収穫、調理に親子で関わっています。 ・ ランチルーム、ホール、園庭を地域の人に開放しています。 ・ 旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこ、あかちゃん教室、サロンなどで育児講座の講師をしています。 ・ 子育て支援員の実習・研修を行っています。

<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を生かした相談機能</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保護者や子ども等への情報提供や育児相談の対応については、ケアプラザ、地区センターなど、地域の親子が集まる場所に、専任保育士と共に、職員が交代で出向き、出張保育を行っています。地域の保護者や子供等への情報提供として、「ひなたぼっこ」のお便りを定期的に掲示し、地域の親子が出入りする場所に置いています。育児相談日（月曜～金曜の９時半～１６時）を設けているが、必要に応じて随時相談に応じるほか、ママキッズへ参加し、相談に応じています。 ・関係諸機関との連携性については、保育園の連携関係機関（区役所・児童相談所・西部地域療育センター・園医他）の連絡先をわかりやすくリストにして、職員間で共有するほか、園長が関係機関の連携担当を行っています。園長は各種連絡会議に参加し、情報を職員と共有しています。児童相談所や小学校と必要に応じて、要支援児童のカンファレンスを行っており、支援が必要な家庭とは、保健師と連携を図り、育児相談や園庭開放、一時保育などの利用を進めています。
<p>Ⅲ－２－(1)地域の保護者や子ども等への情報提供や育児相談に応じているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひなたぼっこ」のお便りを定期的に掲示し、地域の親子が出入りする場所に置いています。 ・育児相談日（月曜～金曜の９時半～１６時）を設けているが、必要に応じて随時相談に応じています。 ・ママキッズへ参加し、相談に応じています。 ・園のお知らせ、ポスターをケアプラザや地区センターに配布し、情報を提供しています。 ・園の情報を区のおたよりに載せています。
<p>Ⅲ－２－(2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の連携関係機関（区役所・児童相談所・西部地域療育センター・園医他）の連絡先をわかりやすくリストにして、職員間で共有しています。 ・関係機関の連携担当は園長が行っています。 ・園長が各種連絡会議に参加し、情報を職員と共有しています。 ・児童相談所や小学校と必要に応じて、要支援児童のカンファレンスを行っています。 ・支援が必要な家庭とは、保健師と連携を図り、育児相談や園庭開放、一時保育などの利用を進めています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

<p>Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所に対する理解促進取り組みとして、地域の活性化のための会議出席や商店街の催し物への参加、散歩を通じた交流など、地域との関わりを多く持っています。保育所に対する理解促進のため、地域の親子と交流保育やランチ交流を行ったり、園庭開放、育児講座を園内外で開催するなど地域の未就学児、未就園児との交流（運動会ごっこ、誕生会、他各種行事）も図っています。主任児童委員との話し合いに参加しています。 ・地域との交流としては、施設内を地域の親子に開放し、利用してもらったり、絵本の貸し出しを行ったりしています。また、近隣の公園に散歩や園外保育に行き、遊具などを利用しています。地域の夏祭りには年長児が参加し、公園愛護会との交流として、公園の花壇に花の苗植えや球根植えを行っています。隣接する小学校を訪問し、1年生を中心に交流したり体育館の利用、太鼓の貸借をさせてもらったり、ソーラン節、学校訪問など一年を通して多くの関わりを持っています。 ・園の行事に「みんなのまちの応援隊」の方を招待し、交流を図っています。地域の保育園が集まり、遠足などの交流をしたり、西部エリアドッジボール交流にも参加しています。 ・高齢者施設への訪問をしたり、行事への招待状を子どもたちが作成し、地域の交番や商店街の会長に配り、交流する機会にするほか、商店街を散歩し、地域の方達と積極的に挨拶を交わしています。また、地域のお祭りにも参加しています。
<p>Ⅳ－1－(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の親子と交流保育やランチ交流を行っています。 ・園庭開放等で地域の未就学児、未就園児と交流しています。（運動会ごっこ、誕生会、他各種行事） ・地域の夏祭りに年長児が参加しています。 ・公園の花壇に花の苗植えや球根植えを行っています。（公園愛護会との交流） ・小学校を訪問し、交流をしています。また、体育館の利用、太鼓の貸借をさせてもらっています。 ・施設内を地域の親子に開放し、利用してもらったり、絵本の貸し出しを行ったりしています。 ・主任児童委員との話し合いに参加しています。 ・園の行事にみんなのまちの応援隊の方を招待し、交流を図っています。

<p>IV-1-(2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園に散歩や園外保育に行き、遊具などを利用しています。 ・商店街を散歩し、地域の方達と積極的に挨拶を交わしています。 ・地域の保育園が集まり、遠足などの交流をしています。 ・小学校を訪問し1年生を中心に交流しています（他学年との交流も行うようにしています） ・西部エリアドッジボール交流に参加しています。 ・高齢者施設への訪問をしています。 ・行事への招待状を子どもたちが作成し、地域の交番や商店街の会長に配りに行き、交流する機会にしています。 ・地域のお祭りに参加しています。
--	----------	--

<p>IV-2 保育所における福祉サービスに関する情報提供</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の利用者が関心のある事項について、わかりやすく情報提供を行っているかについては、ネットワーク事務局園として、交流や研修を通し区内の民間保育園や家庭的保育所の保育力の向上に努めています。市立保育園のサービス内容や必要な情報を提供していると共に、市、区のホームページで発信し、区の広報紙にも育児講座や交流保育などの情報を掲載するなどにより、地域の方にお知らせしています。園見学、一時保育利用者に対しては、見学の際に園庭開放や地域交流にお誘いしています。保育体験は試行的保育、交流保育、一時保育などの利用があります。 ・職員玄関、各クラスには職員の写真を掲示し、話し掛け易い様に工夫しています。園だよりを毎月、学校や第三者委員に配布しているほか、園のパンフレットを区役所、各育児講座やイベント会場に置き、情報提供しています。 ・利用希望者の問い合わせや見学への対応としては、園見学の際や電話なども含め、担当者が質問や相談に答えるようにし、見学者に園が行っている支援事業を紹介しています。また園見学は随時行い、見学者の日時希望にも添っています。見学の際に開催されている交流事業にも随時参加できることもご案内し、お誘いしています。
<p>IV-2-(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市立保育園のサービス内容や必要な情報を提供していると共に、市、区のホームページで発信し、区の広報紙にも育児講座や交流保育などの情報を掲載するなどにより、地域の方にお知らせしています。 ・園見学、一時保育利用者に対し説明会を行い、職員玄関、各クラスには職員の写真を掲示しています。 ・園だよりを毎月、学校や第三者委員に配布しているほか、園のパンフレットを区役所、各育児講座やイベント会場に置き、情報提供しています。
<p>IV-2-(2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園見学の際や電話なども含め、担当者が質問や相談に答えるようにし、見学者に園が行っている支援事業を紹介しています。また園見学は随時行い、見学者の日時希望にも添っています。見学の際に開催されている交流事業にも随時参加できることもご案内し、お誘いしています。

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なボランティアの受け入れや育成については、ボランティア受け入れの際には、事前に園や留意事項について、主に主任が説明を行い、名簿で受け入れの記録を残しています。ボランティアを受け入れるためのマニュアルをもとにして、お互いが気持ちよく活動を進められるように事前に内容や目的、約束ごとなどの説明をして意思疎通を図っています。「みんなのまちの応援隊」というボランティアグループに協力を仰ぎ、手作りおもちゃ・タペストリーなどを製作して保育に反映させています。ボランティアには感想を記入してもらい、職員間で回覧しています。 ・実習生の受け入れに関しては、横浜市の要綱に沿って主任がオリエンテーションを行い、実習生の受け入れ日程を記録しています。実習内容はできるだけ本人の希望に添えるように配慮し、1日の終わりには、ねらいや内容など振り返りの時間を設け、最終日前日には反省会を行うとともに、職員間で実習生の姿勢や取り組みに対する指導の経過を伝達し共有しています。2回目の実習は責任実習を行うため、同じクラスに2週間入り、実習生が子どもや保育への理解を深められるよう配慮しています。
IV-3-(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れの際には、事前に園や留意事項について、主に主任が説明を行っています。 ・ボランティアの受け入れに際し、名簿で受け入れの記録を残しています。 ・「みんなのまちの応援隊」というボランティアグループに協力を仰ぎ、手作りおもちゃ・タペストリーなどを製作して保育に反映させています。 ・ボランティアには感想を記入してもらい、職員間で回覧しています。 ・ボランティアを受け入れるためのマニュアルをもとにして、お互いが気持ちよく活動を進められるように事前に内容や目的、約束ごとなどの説明をして意思疎通を図っています。
IV-3-(2)実習生の受け入れを適切に行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の実習生受け入れ要綱のもと、主任がオリエンテーションを行い、実習生の受け入れ日程を記録しています。 ・実習内容はできるだけ本人の希望に添えるように配慮し、1日の終わりには、ねらいや内容など振り返りの時間を設け、最終日前日には反省会を行うとともに、職員間で実習生の姿勢や取り組みに対する指導の経過を伝達し共有しています。 ・2回目の実習は、責任実習を行うため、同じクラスに2週間入り、実習生が子どもや保育への理解を深められるよう配慮しています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

<p>V-1 職員の人材育成</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定員や事業内容に合わせた適正配置がされています。市の定期的な人事異動により、定員や事業内容に合わせ、様々な保育経験の人材を配置しています。 ・保育所の理念・方針を踏まえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されています。職位Ⅰでは保育実践に必要な専門知識等、職位Ⅱでは主体的自己研鑽による事故能力向上等、職位Ⅲでは教える人の位置づけで職員育成に組織的に貢献すること等の計画を策定しています。 ・個々の職員の資質向上にめけたキャリアラダーを基本に人材育成の計画を進めています。基礎的保育に必要な専門知識・技術の習得、自己能力向上の習得等を進めています。 ・職員がまんべんなく研修に参加できるよう、研修のファイルがあり、必要に応じていつでも見られるようになっています。必要な研修は、園長や副園長、主任が相談して始めに割り振っています。
<p>V-1-1(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定員や事業内容に合わせた適正配置がされています。市の定期的な人事異動により、定員や事業内容に合わせ、様々な保育経験の人材を配置しています。 ・保育所の理念・方針を踏まえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されています。職位Ⅰでは保育実践に必要な専門知識等、職位Ⅱでは主体的自己研鑽による事故能力向上等、職位Ⅲでは教える人の位置づけで職員育成に組織的に貢献すること等の計画を策定しています。 ・個々の職員の資質向上にめけたキャリアラダーを基本に人材育成の計画を進めています。基礎的保育に必要な専門知識・技術の習得、自己能力向上の習得等を進めています。 ・年度初めと終わりに園長・副園長と面談し目標共有シートで目標や課題、達成度を共有しています。目標共有シートでは業務目標を取組事項、達成時期、振り返りを明確にしています。
<p>V-1-1(2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修案内をミーティング、職員会議などで行っています。研修内容には、旭区や局主催の保育理念・年齢別保育・発達に関するもの・障害・家庭支援・保護者支援・食事・救急救命・歯磨き・主任リーダー研修・ファシリテーター研修などがあります。 ・職員がまんべんなく研修に参加できるよう、研修のファイルがあり、必要に応じていつでも見られるようになっています。必要な研修は、園長や副園長、主任が相談して始めに割り振っています。 ・非常勤職員に対しても質の向上に向け、クラスの正規職員が口頭で業務の説明を行うほかに、非常勤職員が自分で時間のある時に業務マニュアルを見て仕事内容、分担、進め方などが理解できるようになっています。業務マニュアルは事務所と各クラスに保管してあり、いつでも見ることができるようになっています。

<p>V-1-(3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と非常勤職員間では行事の担当や、係分担などは共同して担うようにしています。 ・非常勤職員に対しても質の向上に向け、クラスの正規職員が口頭で業務の説明を行うほかに、非常勤職員が自分で時間のある時に業務マニュアルを見て仕事内容、分担、進め方などが理解できるようになっています。業務マニュアルは事務所と各クラスに保管してあり、いつでも見ることができるようになっています。 ・非常勤職員に対しては、嘱託福祉員会議やアルバイト会議を月1・2回行い、園長、副園長が必要な情報を伝えたり、指導を行ったりしています。更にクラス内での担当同士の話し合いに参加、情報の共有するとともに、クラス内外に問わず、正規職員が主となりコミュニケーションを図るようになっています。
-------------------------------------	----------	---

<p>V-2 職員の技術の向上</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の自己評価は年1回年度末に実施しています。職員の振り返りは、会議の中で公開保育や日誌の共有、ケース会議、事例を持ち寄り検討しています。また乳児会議、幼児会議、フリー会議、アルバイト会議など行うことで保育の工夫や改善に努めています。 ・技術向上への工夫・改善として、西部地域療育センターと子どもの発達の見立て・保育の進め方に対する指導、消防署からは避難訓練時の指導、児童相談所からは保護者・家庭の支援について連絡と助言、各種相談内容を基に普段の保育の様子を見てもらうなどを実践しています。 ・保育士が自己の実践の振り返りとして、月間指導計画の自己評価を月1回、また年間の自己評価を行っています。各種記録として、保育日誌に日々の子どものエピソードを記録し、保育士の配慮、考察、自己評価を行っています。 ・振り返りでは月間指導計画に対する取り組み状況とともに保育士の振り返り、自己評価が設け、実績と対比できるようにしています。また年間カリキュラムには、期ごとに自己評価の項目が設けられ、振り返りを行うようにしています。 ・保育士等の自己評価の結果をもとに、日々の保育実践について会議で話し合い、共通認識を深めています。改善点についても意見交換しています。 ・自己評価の結果から自己評価の振り返りを個々で行い、課題を明らかにし、改善点については全体で話し合っています。 ・園の自己評価は満足度調査アンケートを実施し、保育所の理念や保育所の保育所の方針、全体的な計画等に対する結果を次年度に生かしています。
---------------------	----------	--

<p>V-2-(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の自己評価は年1回年度末に実施しています。職員の振り返りは、会議の中で公開保育や日誌の共有、ケース会議、事例を持ち寄り検討しています。また乳児会議、幼児会議、フリー会議、アルバイト会議など行うことで保育の工夫や改善に努めています。 ・技術向上への工夫・改善として、西部地域療育センターと子どもの発達の見立て・保育の進め方に対する指導、消防署からは避難訓練時の指導、児童相談所からは保護者・家庭の支援について連絡と助言、各種相談内容を基に普段の保育の様子を見てもらうなどを実践しています。 ・外部からの保育の技術の評価・指導として看護師、心理士は常駐勤務しており日常的に指導を受けられる体制を構築しています。
<p>V-2-(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実績を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士が自己の実践の振り返りとして、月間指導計画の自己評価を月1回、また年間の自己評価を行っています。各種記録として、保育日誌に日々の子どものエピソードを記録し、保育士の配慮、考察、自己評価を行っています。 ・振り返りでは月間指導計画に対する取り組み状況とともに保育士の振り返り、自己評価が設け、実績と対比できるようにしています。また年間カリキュラムには、期ごとに自己評価の項目が設けられ、振り返りを行うようにしています。 ・保育の振り返りは、子どもの活動や結果、取組課程を重視し、ねらいと保育内容が自己評価されているかカリキュラム会議などで報告し翌月のカリキュラムに反映させています。 ・毎年、保育士の自己評価表でチェックを行い、自らの保育を振り返り、次年度の課題を明確にしています。
<p>V-2-(3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価をおこなっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等の自己評価の結果をもとに、日々の保育実践について会議で話し合い、共通認識を深めています。改善点についても意見交換しています。 ・自己評価の結果から自己評価の振り返りを個々で行い、課題を明らかにし、改善点については全体で話し合っています。 ・園の自己評価は満足度調査アンケートを実施し、保育所の理念や保育所の保育所の方針、全体的な計画等に対する結果を次年度に生かしています。 ・自己評価結果は、横浜市の保育所自己評価様式にのっとり実施しており、年一回2月頃その結果を公表しています。

<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の理念・基本方針は横浜市の人材育成計画が入庁時に示され、配置や昇進・昇格等に関する人事基準が明確に定められ、職員等に周知されています。 ・職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価する仕組みとして、人事考課の制度が確立、年度末には、一人一人から意向調書の活用、評価は保育士のキャリアラダーを活用して本人に開示し説明実施をしています。貢献度の評価は、目標共有シートをもとに
--------------------------	----------	---

		<p>年度初めに職員一人一人と園長とで面談を行っています。年間目標などの計画、話し合いをし、年度途中には、再度面談をし、振り返りを行い改善策へとつなげています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の経験・能力や勤務年数により、横浜市人材育成ビジョン、保育士人材育成ビジョンにより、目標とする事、行動すべきことが示されています。 ・子どもと保護者の状況に応じ自主的に判断できるように、職員には自ら行動できるよう個々に応じ業務を分担し、判断に迷う場合は園長、副園長、主任に相談する体制になっています。
<p>V-3-(1)総合的な人事管理が行われているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の理念・基本方針は横浜市の人材育成計画が入庁時に示され、配置や昇進・昇格等に関する人事基準が明確に定められ、職員等に周知されています。 ・職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価する仕組みとして、人事考課の制度が確立、年度末には、一人一人から意向調書の活用、評価は保育士のキャリアラダーを活用して本人に開示し説明実施をしています。貢献度の評価は、目標共有シートをもとに年度初めに職員一人一人と園長とで面談を行っています。年間目標などの計画、話し合いをし、年度途中には、再度面談をし、振り返りを行い改善策へとつなげています。 ・職員の意向である、職場選択・担任希望など、職員本人の意向を汲んだ、異動や配置について配慮されています。 ・評価結果は、園長、副園長との面談実施し、次年度への意向や要望を伝え、仕事に対して自分の目標を定め、取り組んでいます。
<p>V-3-(2)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の経験・能力や勤務年数により、横浜市人材育成ビジョン、保育士人材育成ビジョンにより、目標とする事、行動すべきことが示されています。 ・子どもと保護者の状況に応じ自主的に判断できるように、職員には自ら行動できるよう個々に応じ業務を分担し、判断に迷う場合は園長、副園長、主任に相談する体制になっています。 ・職員から業務改善の提案を募ったり、意見を聴取するための会議などを実施しています ・年度末の面談において、職員の満足度や、次年度の希望を把握しています。満足度調査の結果を基に業務改善や提案を積極的に受け入れ、改善に努めています。

評価領域VI 経営管理

<p>VI-1 経営における社会的責任</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が守るべき法・規範・倫理等として、横浜市職員服務規程、横浜市職員行動基準、横浜市アルバイト就業要綱等があり、横浜市の職員としてヨコハマを愛し、市民に信頼され、自ら考え行動する職員を目指すことを周知徹底されています。 ・経営、運営状況等の情報として、横浜市のホームページや旭区のホームページ、園のホームページ（はびねすぽっと）にて情報交換しています。 ・ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みとして、ゴミの分別は、ゴミ箱を色分けしたり、イラストを入れたりするなどの工夫をして、子どもたちにもわかりやすく伝えています。 ・省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みとして、枯れ葉や木などは乾燥させ減量化への取組、牛乳パックの回収を行いリサイクル実施、室内の電気をこまめに切る事やエアコンの設定温度を夏季・冬季に分け設定した省エネルギー活動の取り組み、区の環境行動でもあるコピー用紙の裏紙使用等、各種活動を積極的に行い、保護者にも理解を求めています。
<p>VI-1-(1)保育所として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が守るべき法・規範・倫理等として、横浜市職員服務規程、横浜市職員行動基準、横浜市アルバイト就業要綱等があり、横浜市の職員としてヨコハマを愛し、市民に信頼され、自ら考え行動する職員を目指すことを周知徹底されています。 ・経営、運営状況等の情報として、横浜市のホームページや旭区のホームページ、園のホームページ（はびねすぽっと）にて情報交換しています。 ・保育施設での不正、不適切な事案を題材として、定期的にコンプライアンス研修や事例から学んでいます。特に個人情報の取り扱いはマニュアルを活用し、職員間で確認しています。他の施設での事故・不祥事など、事例を報告回覧し、話し合いをもっています。
<p>V-1-(2)公正かつ透明性の高い適切な経営・運営のための取組が行われているか (市立保育所は非該当項目)</p>	<p>—</p>	<p>非該当項目</p>

<p>VI-1-(3) 保育の質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みとして、ゴミの分別は、ゴミ箱を色分けしたり、イラストを入れたりするなどの工夫をして、子どもたちにもわかりやすく伝えています。 ・省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みとして、枯れ葉や木などは乾燥させ減量化への取組、牛乳パックの回収を行いリサイクル実施、室内の電気をこまめに切る事やエアコンの設定温度を夏季・冬季に分け設定した省エネルギー活動の取り組み、区の環境行動でもあるコピー用紙の裏紙使用等、各種活動を積極的に行い、保護者にも理解を求めています。 ・取り組みは明文化し、オフィス3R夢プラン策定し、研修を実施しており、ごみゼロ推進委員がゴミを集計し、職員に周知するなど減量化を意識して取り組んでいます。
--	----------	--

<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念、保育方針、保育目標をわかりやすく事務所や保育室、廊下に掲示しています。 ・ミーティング時に職員で復唱し、理解を深めています。 ・保育理念や基本方針に基づいたカリキュラムが作成されているか、施設巡回する中で、保育に生かされているかを確認しているとともに、保育指導計画を作成する際には、保育理念・保育方針・保育目標に基づいて行い、日々の保育を展開しています。
--------------------------------	----------	---

<p>VI-2-(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念、保育方針、保育目標をわかりやすく事務所や保育室、廊下に掲示しています。 ・ミーティング時に職員で復唱し、理解を深めています。 ・保育理念や基本方針に基づいたカリキュラムが作成されているか、施設巡回する中で、保育に生かされているかを確認しているとともに、保育指導計画を作成する際には、保育理念・保育方針・保育目標に基づいて行い、日々の保育を展開しています。 ・重要な意思決定に際しては、園長は保護者と情報交換を行い、懇談会においては説明や意見交換をしています。重要な意思決定には、近隣住民との駐車問題解決のため園周辺の駐車禁止区域のルールを守ってもらえるよう協力を要請や運動会の開催場所の決定などがあります。 ・重要事項を決定する際には職員の共通認識のもと、保護者に対して懇談会などで継続的かつ丁寧に説明し理解に努めています。例えば運動会の開催場所変更については、保護者アンケートを入念にとり時間をかけて話し合いを重ねた上で決定しました。また駐車場問題に関しては、区の職員も交えて保護者や近隣の住民と話し合いを重ねるようにしました。 ・主任クラス育成に向け、主任リーダー研修、ファシリテーター研修、キャリアラダーなど育成プログラムに参加し、他園の主任クラスの職員とも顔が見える関係を作っています。また、園長や副園長、主任が不在でも的確な指示が出せるようにしています。 ・主任が職員の業務状況を把握できる体制があります。庶務事務システムによる休暇数の把握、フリー職員の乳児・幼児クラス担当時における悩みを把握できるようになっています。
<p>VI-2-(2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な意思決定に際しては、園長は保護者と情報交換を行い、懇談会においては説明や意見交換をしています。重要な意思決定には、近隣住民との駐車問題解決のため園周辺の駐車禁止区域のルールを守ってもらえるよう協力を要請や運動会の開催場所の決定などがあります。 ・重要事項を決定する際には職員の共通認識のもと、保護者に対して懇談会などで継続的かつ丁寧に説明し理解に努めています。例えば運動会の開催場所変更については、保護者アンケートを入念にとり時間をかけて話し合いを重ねた上で決定しました。また駐車場問題に関しては、区の職員も交えて保護者や近隣の住民と話し合いを重ねるようにしました。 ・業務分担のほかに必要なプロジェクトを立ち上げ、年間を通して保育園の活動の検討を行っています。

<p>VI-2-(3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主任クラス育成に向け、主任リーダー研修、ファシリテーター研修、キャリアラダーなど育成プログラムに参加し、他園の主任クラスの職員とも顔が見える関係を作っています。また、園長や副園長、主任が不在でも的確な指示が出せるようにしています。 ・主任が職員の業務状況を把握できる体制があります。庶務事務システムによる休暇数の把握、フリー職員の乳児・幼児クラス担当時における悩みを把握できるようになっています。 ・主任はクラスや職員の問題や悩みに早期に気づき、的確な助言や指導を行うとともに副園長・園長へ相談内容を報告するようになっています。 ・主任は職員体制や保育の悩み、ワークライフバランスに配慮し、職員が健康に業務に努めるよう、体調管理に配慮するなど、毎日の保育や仕事量を把握し応援体制を整えています。
---	----------	---

<p>VI-3 効率的な運営</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に関する情報は、横浜市や区のこども家庭支援課、こども青少年局、その他西部地域療育センター等の関係機関や利用者より情報を把握し、検討しています。 ・重要な情報は職員間で共有するため、園長会などでの報告内容は職員会議で伝え、対応が必要な場合は話し合いを行い取り組んでいます。 ・運営面での重要な改善課題については会議で話し合い、全職員で話し合い共通認識を持ち解決に向け園全体で取り組んでいます。
<p>VI-3-(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に関する情報は、横浜市や区のこども家庭支援課、こども青少年局、その他西部地域療育センター等の関係機関や利用者より情報を把握し、検討しています。 ・重要な情報は職員間で共有するため、園長会などでの報告内容は職員会議で伝え、対応が必要な場合は話し合いを行い取り組んでいます。 ・運営面での重要な改善課題については会議で話し合い、全職員で話し合い共通認識を持ち解決に向け園全体で取り組んでいます。
<p>VI-3-(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。 (市立保育所は非該当項目)</p>	<p>—</p>	

保育観察／子ども本人聞き取りシート A

保育所名	横浜市左近山保育園	調査日	2018年12月17日、 12月20日	調査機関	(公社)けいしん神奈川
------	-----------	-----	------------------------	------	-------------

クラス (年齢)	時間帯	保育の様子・子どもの様子	
0歳児 組	12月17日 15時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭へみんな出て遊んでいます。砂遊びの子はコップに砂を入れ、テーブルに逆においていろんな形を作っています。先生がうまく砂を出せない子にやり方を教えています。ほかの子は4人乗りワゴンを押したり引いたりしてワゴンに乗ったり降りたりして思い思いの遊びに興じています。今日は寒いので教室の中でブロックや玩具で遊んでいる乳児も多く見受けられました。 ・今日も午後3時過ぎから園庭で砂遊び、4人乗りワゴンで先生と一緒に遊んだあと、教室へ入り、パンツやシャツの着替えを先生に手伝ってもらい、交換していました。その後、保護者が迎えに来てくれるのを窓の方を見ながら待っているようでした。 	
	12月20日 15時		
1歳児 組	12月17日 15時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳児も0歳児と一緒に園庭で遊んでいます。砂場遊びや先生とかげっこをしたり、園庭の柱の周りをぐるぐる回ったり活発に動いていました。4時過ぎには一部の保護者がお迎えに来ると嬉しそうに帰る支度を始める乳児もいました。 	
	12月20日 11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食はごはんと味噌汁、おかずは豆、ニンジン、野菜などの煮ものでした。食事の遅い子、早い子、あまり食べない子、ご飯をお代わりする子などさまざまです。隣同士で雑談したり黙々と食べたり先生に手伝ってもらって食したり十人十色でした。 	
2歳児 組	12月17日 15時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭では三輪車遊び、ジャングルジム登り遊び、スライダー・三輪車乗りなどスリルのある乗り物に挑戦しています。靴も2歳児になるとカラフルになり、男の子は車の絵が描いてあるもの、女の子はピンクカラー物など履いており、自分の長靴を自慢合っています。4時過ぎには教室へ入り、ブロック遊びや本読みなどに徐々に切り替え、保護者が来るのを待つ準備をする子も出てきました。 	
	12月20日 15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭へ出てしばらく遊んでいました。三輪車やスコップを使って砂場で砂山を作って遊んだりした後部屋に戻り、ブロック遊びやおもちゃを使って遊んでいます。中には保護者が迎えに来て遊ぶ足らないのか帰るのを嫌がって駄々をこねている子もいました。 	
クラス (年齢)	保育の様子・子どもの様子		子ども本人からの聞き取り
3歳児 組	12月17日 15時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・0～2歳児が園庭で遊んでいる間、幼児組は室内で様々なお遊びで楽しんでいます。クレヨン、お絵かき、色鉛筆を使った塗り絵、レゴ遊び、ままごと遊び、ミニカーで遊んでいる子も居れば、窓の側で一人でお絵本を読んでいる子も居ます。同じおもちゃでも、複数の子で一緒に遊んでいる子も居れば、一人ひとり興に入っている子もいます。またミニカー遊びは、男の子だけでなく女の子で遊んでいる子もいます。 ・少し経って、乳児の子供たちが園庭で遊んでいるうちに、幼児たちも園庭に降りていきます。園庭では、ジャングルジム登り、アスレチック滑り台や鉄棒で逆上がりを練習している子もいます。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・女の子には、ごっこ遊びが人気の様です。数名の子が少しづつ役割を替えて、繰り返して遊んでいます。 ・男の子は、レゴで思い思いの飛行機や車などを作っては自慢気に説明してくれます。 	
4歳児 組	12月20日 16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方は、「お帰りの会」の時間です。当番の人は毎日2人ずつで、お帰りの会の時にみんなの前に立って、明日の予定を伝えます。それが終われば、ご挨拶をして、各自が自分の椅子をテーブルの上に上げて、帰り支度を始めます。この後、お迎えの早い子は、帰り始める子もいますが、まだ多くの子供たちは遊んでいます。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・園庭でのお遊びの時間、少しの間は異年齢で一緒に遊ぶ時間があります。弟と一緒に遊んで遊ぶお姉さんは、弟の事を紹介し、立派なお姉さんの顔になっています。 	
5歳児 組	12月17日 15時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭では乳児たちが部屋に戻った頃から、ドッチボールや相撲など、複数の子供たちが広い園庭を活用してノビノビと遊んでいます。またスライダーなど、思い思いに遊んでいる子もいます。 ・部屋に戻ったら、「お帰りの会」の時間で、4歳児と同じように2人ずつ当番制になっています。クラスの当番は、テーブルのグループ別にかくれくまのみ、かい、ひとで、かめ、うみへびの5つの班に分かれており、クラスで飼っている昆虫や植物、乳児の布団敷き(2グループ)、給食などを毎日交代で担当します。お帰りの会の後、お迎えまでの時間はコマ遊びや投げ縄遊びなど、それぞれの子が楽しみながら遊んでいます。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・お帰りの会の後、子供たちはクラスの中で遊んでいます。男の子はコマ回しで遊んでいる子もおり、器用にコマを回して遊んでいます。 ・クラスの出口近くには、収穫した芋が干してあり、今後それを使って、何かを創ることを楽しみに話してくれます。 	
備考	<p>乳児：7:30～9:00登園、9:00～10:50おやつ、遊び、散歩、11:00食事、その後午睡、15:00おやつ、園内外で遊び、16:30保育短時間終了、18:30保育標準時間終了</p> <p>幼児：7:30～9:00順次登園、9:00～11:00遊び、課題保育、11:15～14:30食事。その後午睡(年齢により前後)、15:00おやつ、園内外で遊び、16:30保育短時間終了、18:30保育標準時間終了</p>		

■結果の特徴

左近山 保育園

アンケート回収率 64.9%

送付数: 97

回答数: 63

- ◆保育園に対する総合的な満足度は「満足」が63.5%、「どちらかといえば満足」が31.7%と両方を加えると95.2%となります。
- ◆園の保育目標・保育方針については、60.3%が「よく知っている」、「まあ知っている」と回答しています。知っている保護者の97.4%がその目標に賛同しています。

◆上記の他に、特に満足度の高い項目(満足、どちらかといえば満足合わせて90%を超える項目)
 ・入園前の見学や説明など、園からの情報提供については(92.1%)・入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については(95.2%)・クラスの活動や遊びについては(98.4%)・子どもが戸外遊びを十分しているかについては(96.9%)・園のおもちゃや教材については(98.4%)・自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については(100.0%)・遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては(96.8%)・遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては(96.9%)・給食の献立内容については(90.5%)・お子さんが給食を楽しんでいるかについては(98.5%)・基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては(95.2%)・昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては(95.2%)・お子さんの体調への気配りについては(96.9%)・施設設備については(93.6%)・お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては(95.2%)・外部からの不審者侵入を防ぐ対策については(90.5%)・保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については(92.0%)・園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については(95.2%)・園の行事の開催日や時間帯への配慮については(90.9%)・お子さんに関する重要な情報の連絡体制については(90.4%)・保護者からの相談事への対応については(93.6%)・あなたのお子さんが大切にされているかについては(92.1%)・あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては(93.6%)・話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては(92.0%)・意見や要望への対応については(92.1%)

- ◆満足度(「よく知っている」)が低い(50%以下の)項目について
 ・園の保育目標・保育方針の「よく知っている」については、7.9%(5件)と全体の1割以下となっています。また、問2の3(園の目標や方針についての説明)についても、49.2%と他の設問に比べ満足度が相対的に低く、『記憶にない』などがコメントされています。理念は保育所の運営全体を包括する考え方を示すものであり、入園時の説明会などでの説明だけでなく、保護者や職員が常に目にする場所に掲示するなどの工夫を行い、保護者の方と共有していく継続的な取り組みが重要と考えられます。
 ・年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか(問3の2:42.9%)や、保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会(問6の1:44.4%)は、保護者とのコミュニケーションに起因する内容であり、結果を伝えるだけでなく理由も分かりやすく説明し、保護者に理解・共有して貰う伝え方も工夫してみても如何でしょう。

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。(%)	よく知っている	まあ知っている	どちらかといえばいい	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
	5	33	12	12	1	0	63
	7.9%	52.4%	19.0%	19.0%	1.6%	0.0%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらかといえばいい	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答	計
	29	8	1	0	0	0	38
	76.3%	21.1%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	40	15	1	0	6	1	63
	63.5%	23.8%	1.6%	0.0%	9.5%	1.6%	100.0%
[その他] ・見学してない。・見学していないため。・見学には行ってない。など6件							
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	42	16	3	0	1	1	63
	66.7%	25.4%	4.8%	0.0%	1.6%	1.6%	100.0%
[その他] ・見学していないのでわからない(1件のみ)							
園の目標や方針についての説明については	31	23	4	0	3	2	63
	49.2%	36.5%	6.3%	0.0%	4.8%	3.2%	100.0%
[その他] ・記憶にない。・あったかもしれないが覚えていない。・覚えていない(2件)。							
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	44	16	1	0	1	1	63
	69.8%	25.4%	1.6%	0.0%	1.6%	1.6%	100.0%
[その他] ・そのような面接は記憶にない。							

保育園での1日の過ごし方についての説明については	35	20	5	1	1	1	63
	55.6%	31.7%	7.9%	1.6%	1.6%	1.6%	100.0%
[その他] ・家で変わったことがあって伝えた時に、園ではどうだったか聞けない時がある。							
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	37	19	4	2	0	1	63
	58.7%	30.2%	6.3%	3.2%	0.0%	1.6%	100.0%
[その他] ・コメントなし							

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	35	19	5	3	1	0	63
	55.6%	30.2%	7.9%	4.8%	1.6%	0.0%	100.0%
[その他] ・ギリギリの時がある。							
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	27	28	1	5	2	0	63
	42.9%	44.4%	1.6%	7.9%	3.2%	0.0%	100.0%
[その他] ・わからない。・運動会は園庭がよかった。							

問4 日常の保育内容について

「遊び」について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	44	18	1	0	0	0	63	
	69.8%	28.6%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他] ・他クラスにも行き交流もありうれしく思う。								
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	51	10	1	0	0	1	63	
	81.0%	15.9%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%	
[その他] ・コメントなし								
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	49	13	1	0	0	0	63	
	77.8%	20.6%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他] ・手作りおもちゃもあり参考になる。								
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	50	13	0	0	0	0	63	
	79.4%	20.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他] ・積極的に外に出てくれたり遊ばせてくれる。								
遊びを通して友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	44	17	0	1	1	0	63	
	69.8%	27.0%	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%	100.0%	
[その他] ・子どもが一人になってる時がある。								
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	42	19	2	0	0	0	63	
	66.7%	30.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他] ・コメントなし								
「生活」について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	41	16	5	0	1	0	63	
	65.1%	25.4%	7.9%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%	
[その他] ・主食を頼んでない方のお弁当を温かくしてほしい。								
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	43	19	1	0	0	0	63	
	68.3%	30.2%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
[その他] ・コメントなし								

基本的生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	45	15	1	0	2	0	63
	71.4%	23.8%	1.6%	0.0%	3.2%	0.0%	100.0%
[その他] ・十分に手洗いができているのか?・手洗いうがいが本人まかせになりがち。							
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	40	20	1	2	0	0	63
	63.5%	31.7%	1.6%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
[その他] ・子どもの体調に合わせて寝かせてほしい。昼寝時間は寝かせすぎではないか。							
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	37	10	3	2	6	5	63
	58.7%	15.9%	4.8%	3.2%	9.5%	7.9%	100.0%
[その他] ・まだわからない。・まだはずれてもいません。・まだわかりません。・まだ実施してないので。・わからない。							
お子さんの体調への気配りについては	42	19	1	0	1	0	63
	66.7%	30.2%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%
[その他] ・まれに熱が出ていても元気なため、気付くのが遅い。							
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応については	34	20	3	4	2	0	63
	54.0%	31.7%	4.8%	6.3%	3.2%	0.0%	100.0%
[その他] ・まだ起きてない。・説明がなく帰ったらケガをしていたこともあった。							

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	38	21	2	0	2	0	63
	60.3%	33.3%	3.2%	0.0%	3.2%	0.0%	100.0%
[その他] ・歯ブラシ置きが隣の歯ブラシと触れている。・できれば食事した後の消毒(テーブル)をしてほしい。							
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	39	21	3	0	0	0	63
	61.9%	33.3%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
[その他] ・コメントなし							
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	35	22	5	1	0	0	63
	55.6%	34.9%	7.9%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%
[その他] ・コメントなし							
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	36	19	5	0	3	0	63
	57.1%	30.2%	7.9%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%
[その他] ・情報提供があるが、ただ置かれているだけ。どのクラスで発生しているかなどの詳しい情報がない。・各クラスにあるがノートなどに隠れて見えない時があり、園の入り口(タイムカード)の所に大きく出してほしい。・発生状況はあるが、その感染についての注意事項もせてほしい。							

問6 園と保護者との連携・交流についていかがですか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	28	30	4	0	1	0	63
	44.4%	47.6%	6.3%	0.0%	1.6%	0.0%	100.0%
[その他] ・まだ参加した事ない。							
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	38	22	1	1	1	0	63
	60.3%	34.9%	1.6%	1.6%	1.6%	0.0%	100.0%
[その他] ・給食やおやつの写真を貼ってあるのはいいが、昨日と同じ時がある(変えていない)。・多すぎるのでメール等でいただきたい。							
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	41	20	0	1	1	0	63
	65.1%	31.7%	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%	100.0%
[その他] ・良いが、0歳クラスももっと行事があれば楽しかった。							

送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	33	18	10	0	2	0	63
	52.4%	28.6%	15.9%	0.0%	3.2%	0.0%	100.0%
[その他] ・簡単にでよいので様子を教えてください。・家で変わったことがあって伝えた時に、園ではどうだったか聞けない時がある。							
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	37	20	3	0	3	0	63
	58.7%	31.7%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	100.0%
[その他] ・幼児クラスは連絡ノート(個別)のやりとりがなく、個人的な事を相談しにくい。・不明。・家で変わったことがあって伝えた時に、園ではどうだったか聞けない時がある。							
保護者からの相談事への対応については	36	23	3	1	0	0	63
	57.1%	36.5%	4.8%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%
[その他] ・コメントなし							
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	34	17	5	1	4	2	63
	54.0%	27.0%	7.9%	1.6%	6.3%	3.2%	100.0%
[その他] ・今のところ残業していないのでわかりません。・仕事が休みでも預けリフレッシュしたい時、「今日休みだから早にお迎えに来て」と言われ、預けることが悪いのかすごく罪悪感があった。・そういった事態になったことがないのでわからない。・定時でも延長になる。・こちら側が何とか時間内に何らかの方法で行っているのわからない。							

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	43	15	4	0	0	1	63
	68.3%	23.8%	6.3%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
[その他] ・荷物のように我が子が抱っこされていた時はすごくショックだった(横にかかえられていた)。							
あなたのお子さんが保育園生活を楽しているかについては	47	12	2	1	0	1	63
	74.6%	19.0%	3.2%	1.6%	0.0%	1.6%	100.0%
[その他] ・コメントなし							
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	35	19	1	0	2	6	63
	55.6%	30.2%	1.6%	0.0%	3.2%	9.5%	100.0%
[その他] ・わからない(2件)。・障害のある子も受け入れているので助かっている。							
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	38	20	3	2	0	0	63
	60.3%	31.7%	4.8%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
[その他] ・話をしている時に子供が入ってくることもあるので、その時は話がそれてしまうためどこまで話したかわからない。							
意見や要望への対応については	32	26	4	1	0	0	63
	50.8%	41.3%	6.3%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%
[その他] ・コメントなし							

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	40	20	2	0	1		63
	63.5%	31.7%	3.2%	0.0%	1.6%		100.0%

利用者アンケート集計結果（グラフ表示）

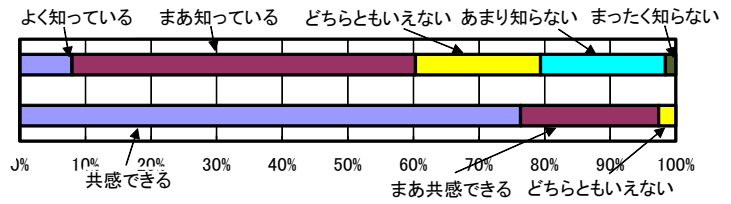
調査対象保育園： 左近山 保育園

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

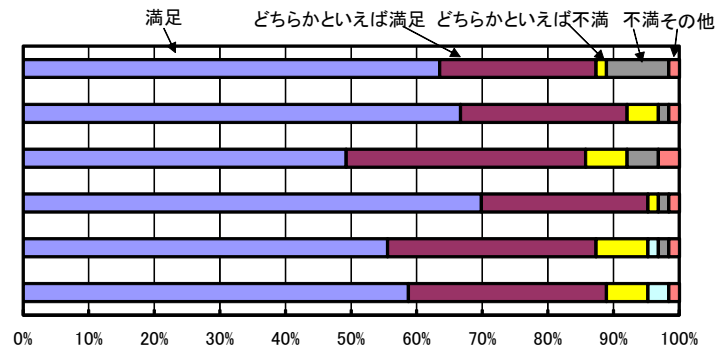
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



■ 保育園のサービス内容について

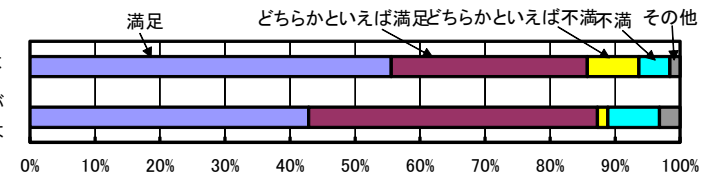
問2 お子さんが入園する時の状況について

見学の受け入れについては
 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については
 園の目標や方針についての説明については
 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを
 保育園での1日の過ごし方についての説明について
 費用やきまりに関する説明については



問3 保育や行事の年間計画について

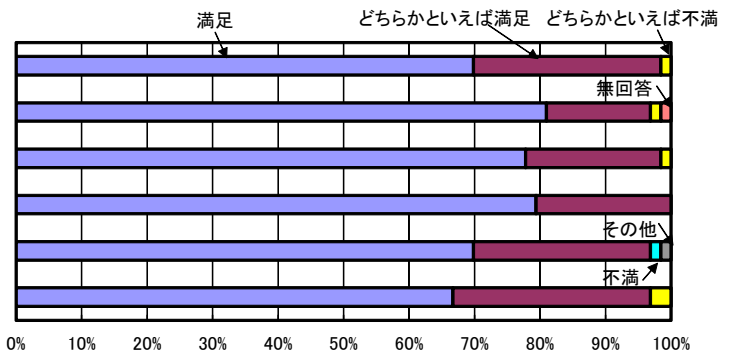
年間の保育や行事についての説明については
 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては



問4 日常の保育内容について

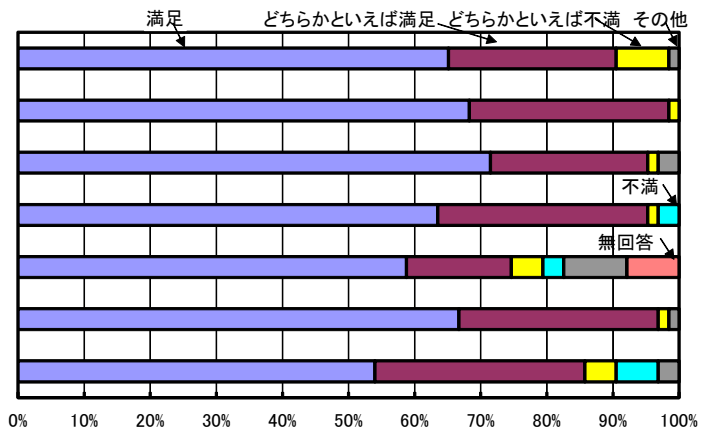
「遊び」について

クラスの活動や遊びについては（お子さんが満足しているかなど）
 子どもが戸外遊びを十分しているかについては
 園のおもちゃや教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）
 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については
 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては
 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては

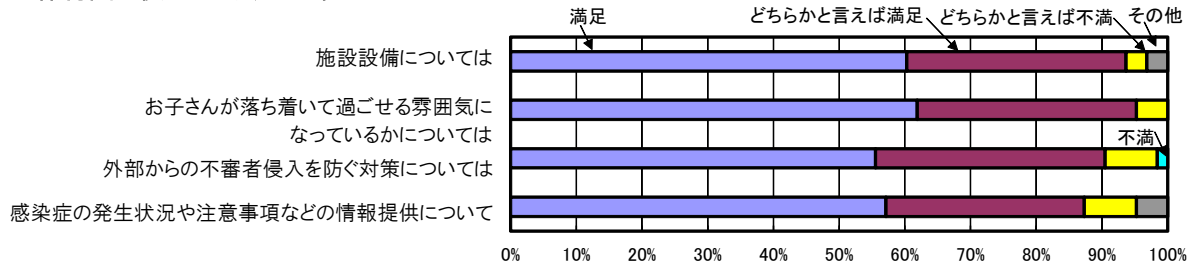


「生活」について

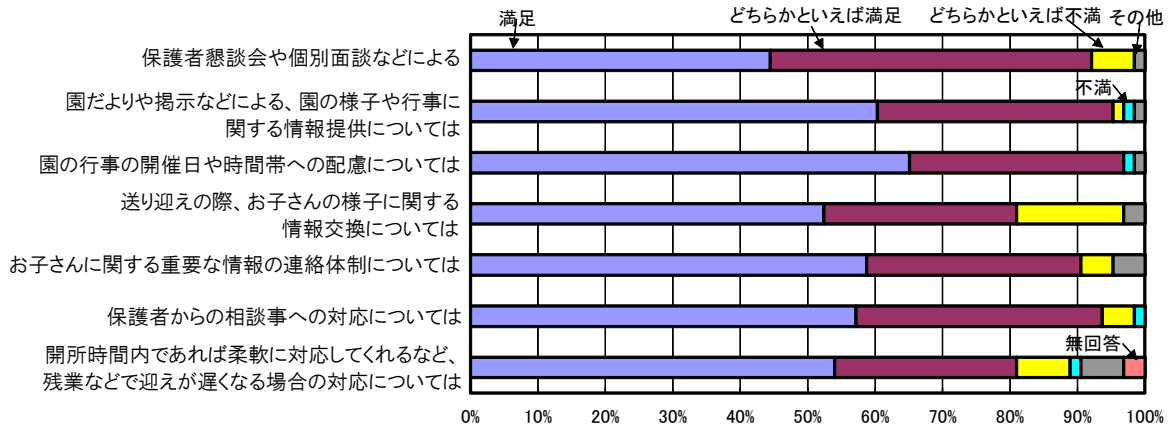
給食の献立内容については
 お子さんが給食を楽しんでいるかについては
 基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては
 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては
 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては
 お子さんの体調への気配りについては
 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応については



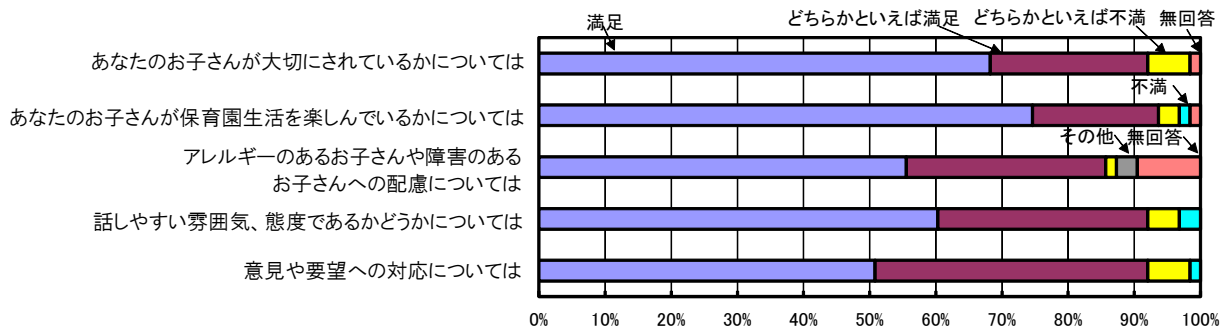
問5 保育園の快適さや安全対策などについて



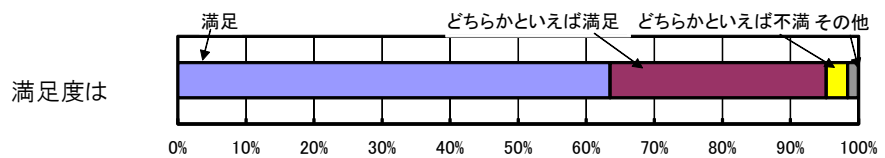
問6 園と保護者との連携・交流について



問7 職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しています



横浜市立左近山保育園として

未来をになう子どもたちのすこやかな成長をねがって

未来への可能性を秘めたかけがえない子供たち

その子供たちが、まわりの人々から愛され、日々の生活や遊びの中で心にひびく多くの体験を積み重ねることが、人格形成の基礎を培います。その大切な時期の子どもたちをお預かりする保育園は、一人ひとりがより良い、一日を過ごせるように援助します。

人や物や自然に大きな愛情を持ち、自信を持って生きていけるように

左近山保育園の評価結果の“まとめ”

アンケート結果より
保護者の総合的な満足度は高い（満足+どちらかとい
えば満足）
（92.8%）
○日常の保育内容について満足度は高くでています。
●園と保護者との連携・交流、行事の年間計画の進め方は改善
の余地があります。

心とからだの健康

子どもたちが健康に過ごすため、食事・睡眠・排泄・清潔などの基本的生活を大切にします。

心にひびく体験

子どもたちの心動かされる体験は、子どもたちの感性を豊かに育み、創造性の芽生えを培います。

さまざまな人とのかかわり

うれしさ、楽しさ、悲しさ、くやしさを、たくさん感じながら思いを伝え合い、愛情と信頼感、人を大切にする心を育てます。

子どもを育む環境

子どもたちの好奇心や興味をかきたて、生活や遊びが安全で豊かに広がっていくように、環境や遊具に配慮しています。

事業者コメント

左近山保育園では、前回、平成22年度に第三者評価を受審しており、今回は8年ぶりの受審となりました。当時とは職員も変わっており、今年度からは新制度による土曜11時間開所に伴い、職員の勤務体制も大きく変化しています。このタイミングでの受審は改めて保育や園運営を振り返る良い機会となりました。

評価項目一つひとつについて全職員が確認し、見直しながら進めてまいりました。多職種の職員が在職し、総勢50名を超える大規模園です。情報共有は日頃から意識して行っていましたが、分担で行っている業務も多く、それぞれの認識の違いなどがあることもよくわかりました。今後の課題として保育士間の情報共有と共に円滑な連携をよりいっそう目指していきたいと思いました。

保護者の皆様にもお忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいた貴重なご意見は職員一同真摯に受け止め、できることから改善に努めてまいりたいと思います。

左近山保育園を見守り、丁寧に評価をしてくださったけいしん神奈川の皆様にも大変お世話になりました。今回の受審を今後の保育園運営に活かしてまいります。保護者の皆様に安心してお子さんを預けていただける保育園、地域に根差した保育園としてこれからも保育を展開してまいりたいと思います。ありがとうございました。

左近山保育園長 北内 千佳